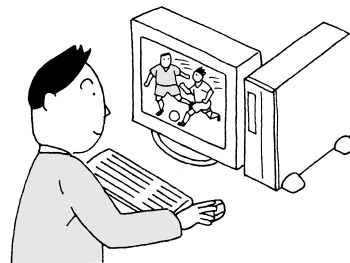
VALUESTAR

LaVie

TVモデルガイド

地上アナログTV放送を
楽しむために

「パソコンでテレビを見る」といっても、基本はふつうのテレビと同じ。使うケーブルも、テレビと同じアンテナケーブルです。パソコンにアンテナケーブルを接続して、ソフトを設定すれば、パソコンならではの方法でテレビを楽しめます。

パソコンならでは！便利な機能

●タイムシフトモード

タイムシフトとは、パソコンでテレビを見ているときに、テレビを見ながらビデオのように巻き戻しや一時停止ができる機能のことです。このタイムシフトが使えるモードを、「タイムシフトモード」と言います。

●さかのぼり録画（タイムシフト録画）（p.44）

「いまのシーン、録っておきたかった」こんなときにはさかのぼり録画です。タイムシフトモードで視聴すれば、録りたかったシーンまでさかのぼって録画、保存できます。タイムシフトモードでは、見逃してしまったシーンをその場でさかのぼって視聴することもできます。

●おまかせ録画（p.80）

「この人の出演する番組は全部見たい」「このスポーツに関連する番組も録っておきたい」というときには、おまかせ録画。興味のあるジャンルや人物などを指定しておくと、該当する番組をどんどん録画してくれます。

●おてがる予約（p.67）

新聞のテレビ欄と同じ最新の番組表を受信して表示できます。あとは番組表を見ながら、録画予約したい番組を選ぶだけです。ジャンルやキーワードで番組を検索することもできます。

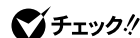
●ぴったり録画（p.77）

「長い映画を1枚のDVDに保存したい」「連続ドラマをまとめたDVDを作りたい」というときは、ぴったり録画です。録画予約するときにあらかじめファイルサイズを指定しておくと、最適な画質で録画されます。

853-810601-375-A

録画した番組を編集、保存

録画した番組は、場面を切り出してつなげたり、いらない部分をカットしたり、いろいろな効果をつけるなど、自由に編集できます。編集した番組をCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAMに保存して、自分だけのビデオライブラリの完成です(p.88)。SDメモリーカードに保存すれば、携帯電話でも再生できます(p.103)。

チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物から取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

「SmartVision」
(簡易編集機能)

「DVD MovieWriter」

外出先から録画予約

このパソコンと他のサービスを組み合わせれば、外出先のパソコンや携帯電話から家のパソコンへ録画予約できます(p.82)。

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント
(ドット・ゲートサービス用)」

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント
(BIGLOBE用)」

「reserMail」
(reserMail添付モデル)

この本には、SmartVisionを使って、地上アナログテレビ放送を見る方法が記載されています。

853-810601-375-A
2005年1月　初版

このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

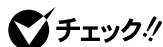
◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

パソコンを使うヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
CD/DVDドライブ	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW（DVD+R 2層書込み）モデルでは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD+R 2層書込み）ドライブのことを指します。 DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブのことを指します。 CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。 DVD-R/RWモデルでは、DVD-R/RWドライブのことを指します。 DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RWドライブのことを指します。

プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの（困ったときのサポートナビゲーター）をダブルクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」－「ソフトの紹介と説明」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。ソフトの名称などがわかっている場合は、続けて「ソフト一覧」をクリックして該当する項目をご覧ください。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ一体型モデル	液晶ディスプレイと本体が一体になっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW（DVD+R 2層書込み）モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD+R 2層書込み）（DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVDスーパーマルチドライブ）を搭載しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ（マルチプレードライブ）を搭載しているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW モデル	DVD-RAM/R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-R/RWモデル	DVD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上アナログデータ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
BS/地上デジタルTVモデル	地上アナログテレビ/地上アナログデータ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 2
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter® for NEC Ver.3
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC
bitcast browser	bitcast browser Ver3.0
マカフィー・ウイルススキャン	マカフィー®・ウイルススキャン
マカフィー・セキュリティセンター	マカフィー®・セキュリティセンター
マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス	マカフィー®・パーソナルファイアウォールプラス

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP HomeEditionまたはMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
(10) 地上デジタル・BSデジタル・CSデジタル放送対応のチューナを、本装置の外部入力端子に接続した場合、「1回だけ録画可能」の番組などのコピー制御された番組は、本装置で録画およびタイムシフトできません。

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlook、DirectX、MSN、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
ADAMS-EPGは、テレビ朝日系列24局のデータ放送によるテレビ番組の情報配信サービスです。
UleadおよびUlead Systemsロゴ、DVD MovieWriterはUlead Systems,inc.またはユーリードシステムズ株式会社の商標または登録商標です。
「iモード/アイモード」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
Vodafone live!/ボーダフォン ライブ!は、ボーダフォン株式会社の登録商標です。
EZweb/イージーウェブは、au(株式会社KDDI)の登録商標です。
InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVD、WinDVDXはInterVideo, Inc.の商標または登録商標です。
SmartVision、BIGLOBE、MediaGarageは、日本電気株式会社の登録商標です。
McAfee、VirusScan、マカフィーは米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の登録商標です。
bitcastおよびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。
デジオン、DiXiMはデジオンの登録商標です。
reserMail、リザメールはエイディシーテクノロジー株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

アナログ放送からデジタルへの移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、ＢＳアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

目 次
CONTENTS

目 次
CONTENTS

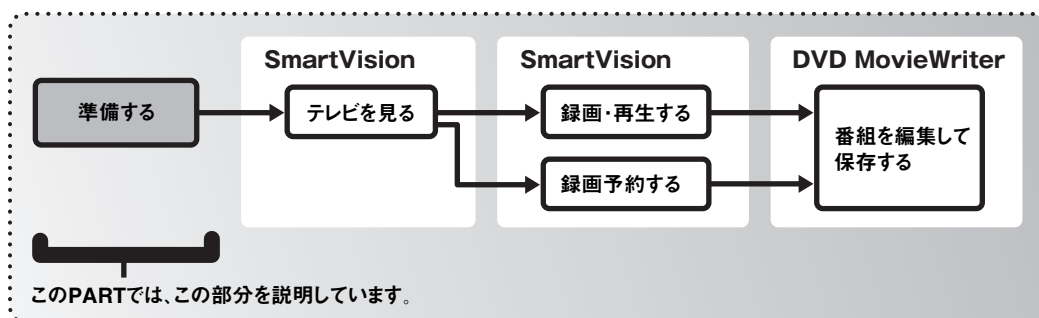
PART 6

目 次
CONTENTS

PART

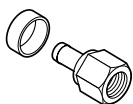
1

接続と準備をする

まずアンテナの接続をしましょう。ご家庭のアンテナ線の形状に合わせて取り付け方が異なります。このPARTをご覧になりながら、パソコンでテレビを見る準備をしてください。

アンテナ線を接続する

テレビや地上アナログデータ放送を見る準備をします。アンテナに接続されているケーブルにF型コネクタプラグ（別売）を取り付けます。

用意するもの

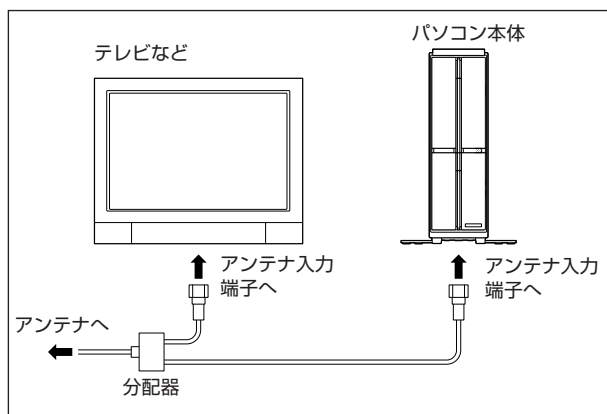
いまお使いのアンテナ線の形状によって必要なものが異なります。
市販のF型コネクタプラグ、または市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルでパソコン本体と接続します。

F型コネクタプラグ

F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

このほか、アンテナ線の状態によっては、U/V混合器や分配器が必要になります。お使いのアンテナ線の状態に合わせて、適したものをお買い求めください。

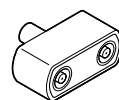
こんなときは

アンテナ線をパソコン本体とテレビ（またはビデオ）の両方に接続したい

市販の分配器を使えば、アンテナ線を2つにできます。分配した後で、市販のF型コネクタプラグの付いた同軸ケーブルで、パソコンと接続してください。

チェック!!

CATVホームターミナルを使ってテレビを見る場合は、付録の「CATV放送を見る」（p.142）をご覧ください。

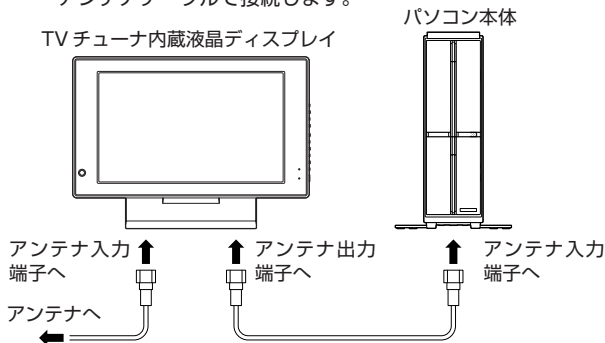
チェック!!

F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、このパソコンには添付されていません。アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプを使ってください。

分配器

チェック!!

テレビをつなぐなどしてアンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、ディスプレイの画面がちらついたり、きれいに映らないことがあります。この場合は、市販のアンテナブースターを接続してください。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

アンテナ線をパソコン本体とTVチューナ内蔵のディスプレイの両方に接続したい（TVチューナ内蔵液晶ディスプレイセットモデル）

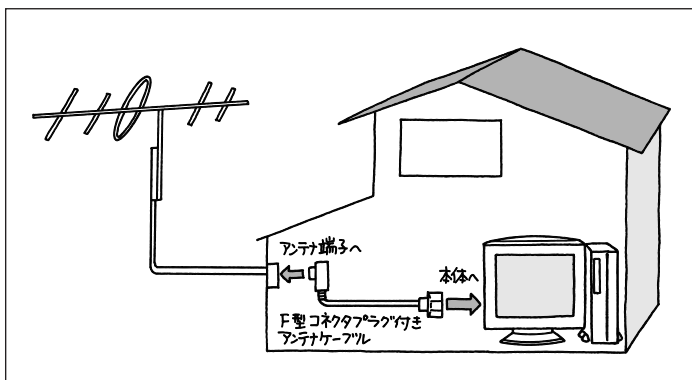
VALUESTARのTVチューナ内蔵液晶ディスプレイセットモデルでは、液晶ディスプレイを普通のテレビとして使うこともできます。その場合、液晶ディスプレイのアンテナ出力端子とこのパソコンのアンテナ入力端子をディスプレイに添付のアンテナケーブルで接続します。

アンテナ線に平行フィーダを使っている

アンテナ線が平行フィーダの場合は、市販の整合器を使用して、同軸ケーブルに変更してください。
詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

アンテナ線の状態を確認する

いまお使いのアンテナ線はどうなっていますか？

●壁面などにアンテナ端子があるとき⇒F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

マンションなどで壁面にアンテナ端子だけがある場合は、市販のF型コネクタプラグのついた同軸ケーブルをお買い求めください。

これ以外にも壁側の端子とそれに適合するプラグの形状にはいくつかのタイプがありますので、お近くの電器店などにご相談ください。

参照

液晶ディスプレイ側のアンテナ接続については、液晶ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

F型コネクタプラグ付き
アンテナケーブル

チェック!!

アンテナケーブルには上の図のように一方のプラグの形状が箱型になっているものもあります。その場合は、次のように接続してください。
・箱型→壁の端子
・ネジタイプ→パソコン本体
箱型のプラグをパソコン側のコネクタに使用すると、ノイズの影響を受けやすくなり、データ放送を正常に受信できないことがあります。

●アンテナ線が１本（UHF のみまたは VHF のみか、
UHF/VHF 混合）のとき⇒ F 型コネクタプラグ

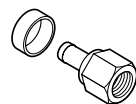
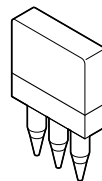
アンテナ線の先端に F 型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。

F 型コネクタプラグ

参照

F 型コネクタプラグの取り付け方→付録の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」（p.144）

●アンテナ線が２本（UHF と VHF）のとき⇒ F 型コネクタプラグ、U/V 混合器

市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを１本にします。そしてケーブルの先端に F 型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。

F 型コネクタプラグ
U/V 混合器

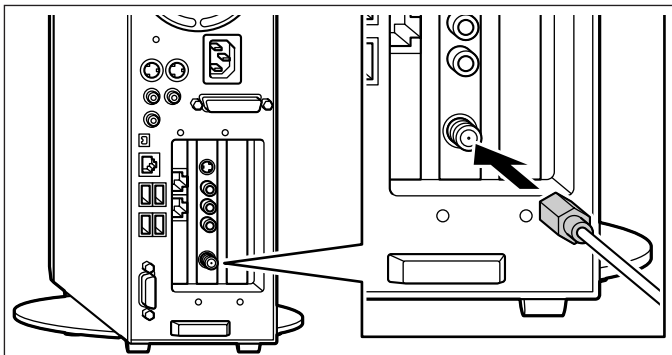
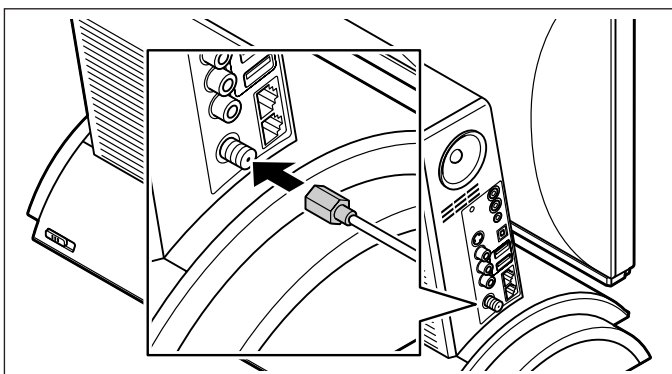
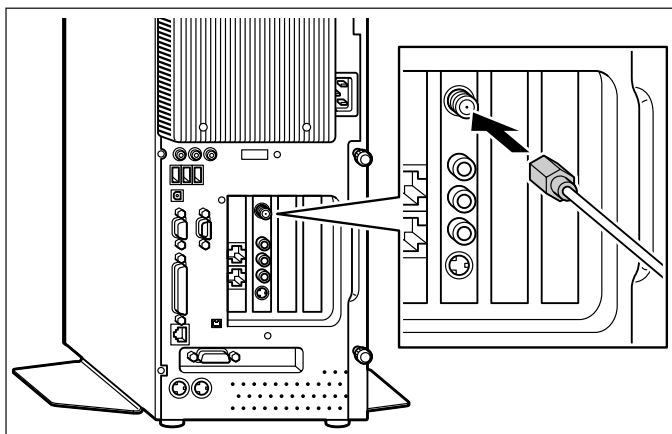
U/V混合器とその取り付け方についてはお近くの電器店などにご相談ください。

参照

F 型コネクタプラグの取り付け方→付録の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」（p.144）

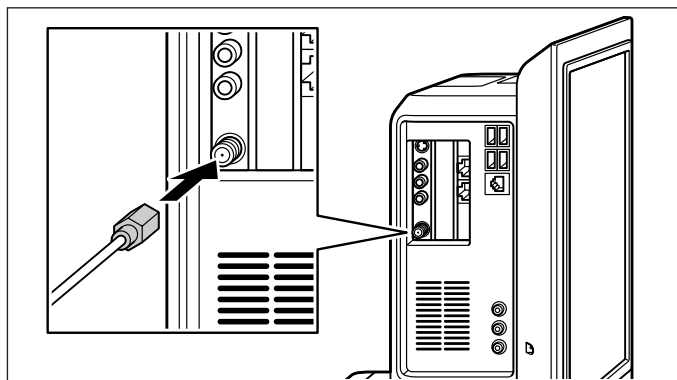
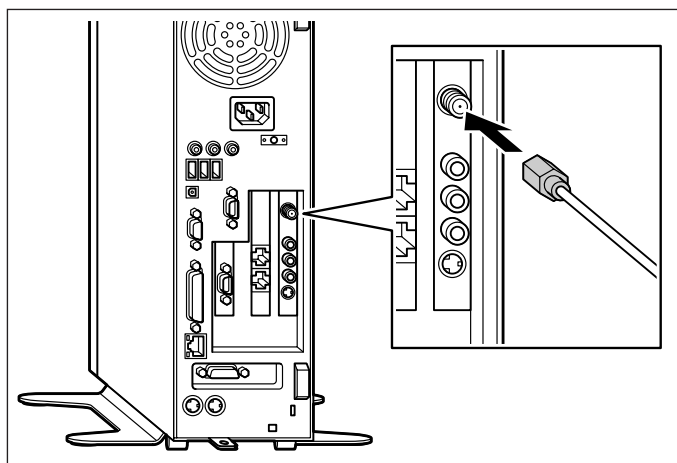
アンテナ線を本体につなぐ（VALUESTARの場合）

1 **本体背面（VALUESTAR S、VALUESTAR SRは本体左側面）の「Y VHF/UHF」と書かれているコネクタにアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む**

VALUESTAR L

VALUESTAR S

VALUESTAR TX、VALUESTAR TZ

チェック!!

・アンテナ線を接続する前にパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
・BS/地上デジタルTVモデルでは、地上デジタル/地上アナログTV＆データボードの位置が異なります。必ずY VHF/UHFアンテナ端子に接続してください。

BS/地上デジタルTVモデルでは、地上デジタル/地上アナログTV＆データボードの位置が異なります。必ず一番左のボードにあるY VHF/UHFアンテナ端子に接続してください。

VALUESTAR SR

VALUESTAR G タイプ C

2

F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

アンテナ線を本体につなぐ（LaVie の場合）

1

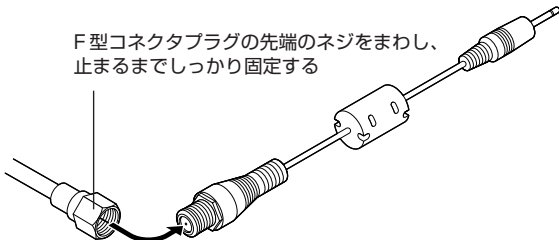
パソコンや周辺機器の電源を切る

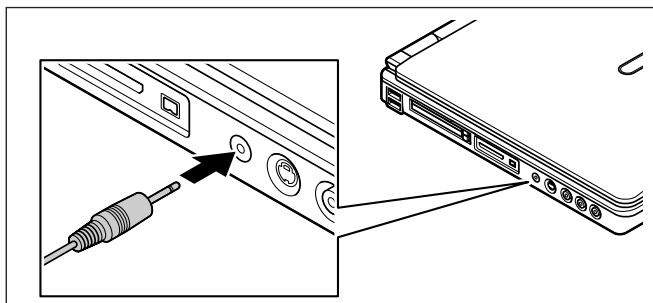
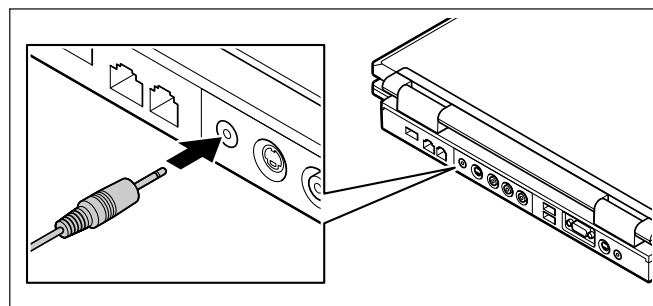
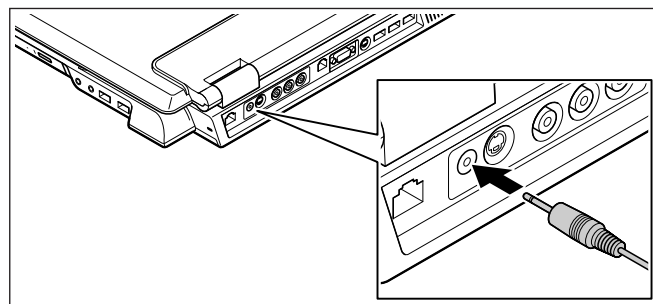
2

電源コードのプラグを AC コンセントから抜き、AC アダプタをパソコンから取り外す

チェック!!

アンテナ線を接続する前に、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をご覧ください。

3 TV アンテナ変換ケーブルと TV アンテナケーブルを接続する

4 アンテナ入力端子 (Ƴ) に TV アンテナ変換ケーブルを差し込む

LaVie L

LaVie T

LaVie TW

チェック!!

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

録画予約のための準備をする

SmartVisionの録画予約機能を使うために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しないように設定する必要があります。

チェック!!

この設定をおこなわないと、パソコンを録画予約の時間まで省電力状態や電源オフの状態にしたときに、録画することができません。

●スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

この設定を変更する場合は、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者権限をもったユーザーアカウントでログオンしてください。制限付きユーザーアカウントでは設定を変更できません。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする**

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする**

3 **「電源オプション」をクリックする**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「詳細設定」タブをクリックする**

制限付きユーザーアカウントでログオンしている場合は、手順５で設定を変更することができません。管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしたときに設定をオフにしていれば、この設定が有効になります。
Guestアカウントでログオンしても利用できません。

7 **「パフォーマンスとメンテナンス」を閉じる**

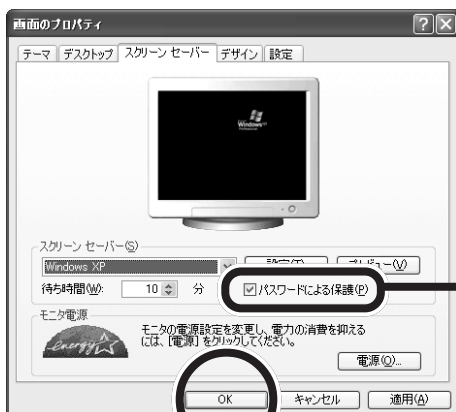
●スクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

スクリーンセーバーを表示する設定になっている場合は、次の手順で、復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする

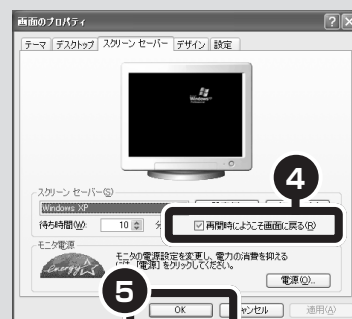
3 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする

画面のプロパティが表示される

4 ☑になっている場合は、クリックして□にする

5 「OK」をクリックする

6 「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる

チェック!!

複数ユーザーでお使いの場合に表示される画面のプロパティでは、手順4の「パスワードによる保護」は「再開時にようこそ画面に戻る」になっていますが、同じようにクリックして□にし、手順5で「OK」をクリックしてください。

複数ユーザーでお使いの場合でも、ユーザーの簡易切り替えを使用していない場合には表示される画面は左の画面となります。

● Windows のログオン時のパスワードを設定する

セキュリティ上の保護（コンピュータウイルスの感染防止、パソコン盗難時の個人情報保護）をおこなうかたは、次の設定をおこなってください。Windowsのログオンパスワードを設定しないかたは、この設定を省略して「テレビを見るための準備をする」（p.11）へ進んでください。

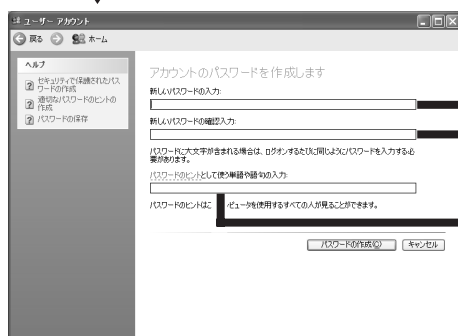
1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「ユーザー アカウント」をクリックする

3 「アカウントの変更」をクリックする

4 パスワードを設定するアカウント（ユーザー名）をクリックする

5 「パスワードを作成する」をクリックする

「ユーザーアカウント」画面が表示される

6 パスワードを入力する

7 手順6で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

8 必要に応じて、パスワードを思い出すときにヒントになる単語や語句を入力する

9 「パスワードの作成」をクリックする

10 「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリックする

11 「ユーザー アカウント」の画面を閉じる

チェック!!

・セキュリティ上の保護のため、パスワードの設定をおこなうことを強くおすすめします。
・パソコンを複数ユーザーで使っている場合や、シングルユーザーでパスワードを設定している場合は、電源オフの状態から録画予約を実行することはできません。

チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーアカウントにこの設定をおこなってください。

テレビを見るための準備をする

アンテナの接続が完了したら、SmartVisionで番組を見るための準備をします。

チャンネルと番組表の設定をする

はじめてSmartVisionを起動すると、SmartVisionを使うために必要な設定をする「チャンネル設定ユーティリティ」が表示されます。画面に表示される質問に答えながら、受信するチャンネルの設定をしたり、地上アナログデータ放送からの時刻情報を受信してこのパソコンの時刻を調整したり、番組表を定期的に受信する設定をおこないます。

●初期設定を始める

1 「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「テレビを見る・録画予約する」-「SmartVision」アイコン-「起動する」をクリックする

2 画面を読んで「オートプリセット」をクリックする

「地域指定」の画面が表示される

チェック!!

SmartVision起動中にファイルアクセスが発生すると、マカフィー・ウイルススキャンなどのセキュリティソフトがリアルタイムにファイルスキャンをおこなうことがあります。この影響で画面が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。ご注意ください。

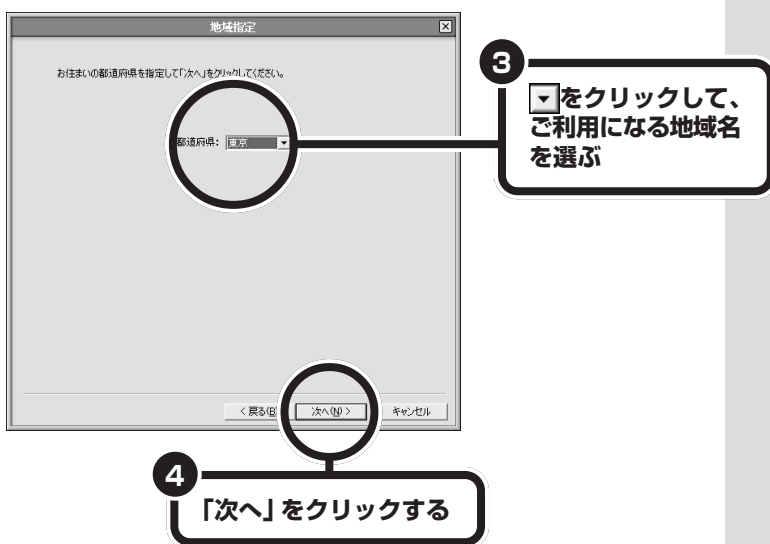
参照

PART6の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.126)

チェック!!

チャンネル設定ユーティリティでの設定は、必ずコンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでおこなってください。

チェック!!

- 引越しなどで、お住まいの地域の放送局が変わったときは、「2回目以降にチャンネルを設定する」(p.18)をご覧になり、チャンネルなどを設定しなおしてください。
- 次のようなときにもチャンネルなどの設定が必要です。
  - SmartVisionを再インストールした後
  - パソコンを再セットアップした後

オートチューニングが実行されます。オートチューニングが終了すると、次の画面が表示されます。

ここで受信できるチャンネルがすべて設定されていて、CATV（ケーブルテレビ）の設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」（p.15）に進んでください。

チャンネルの設定がうまくいかなかったときは、次ページの手順で手動でチャンネルを設定してください。

●地上アナログ放送のチャンネルを手動で設定する

1 設定するチャンネルの左の□をクリックして☑にする

2 「放送局」の▼をクリックして、放送局名を選ぶ

3 「周波数微調整」のバーをドラッグして、番組を受信できるように調整する

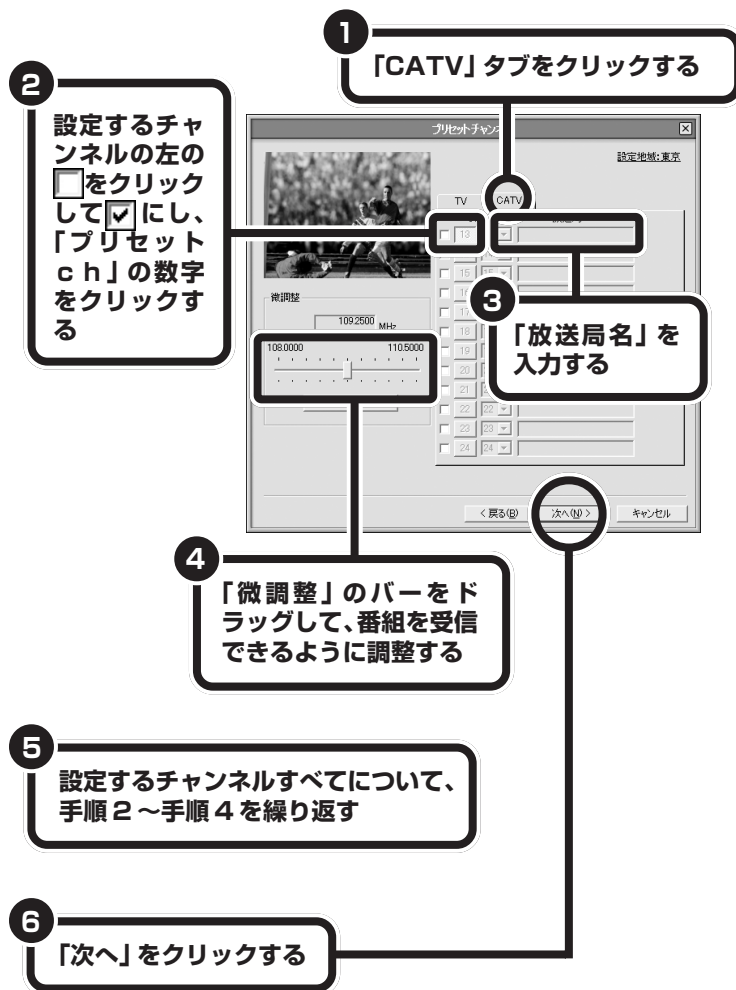
4 設定するチャンネルすべてについて、手順１〜手順３を繰り返す

これで、地上アナログ放送のチャンネル設定は終了です。
次にCATV（ケーブルテレビ）のチャンネルを設定します。CATVの設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」(p.15) に進んでください。

チェック!!

・「放送局」の一覧に該当する放送局がない場合は、手動で放送局名を入力してください。
「放送局」の一覧に放送局名があるときは、キーボードから入力せずに一覧から選んでください。キーボードから入力すると、番組表が受信できなくなる場合があります。
・地上デジタル放送の開始によりアナログ周波数変更対策がおこなわれた地域のかたは、放送局のチャンネル番号が変更されている場合があります。詳しくは、（社）電波産業会のホームページのアナログ周波数変更対策情報（http://www.arib.or.jp/anahen/index.html）をご覧いただくか、または、お住まいの地域の受信対策センターにご相談ください。

● CATV（ケーブルテレビ）の設定をする

CATV をお使いの場合、CATV のチャンネルを設定します。

これで、設定は終了です。
次の「番組表受信の設定をする」に進んでください。

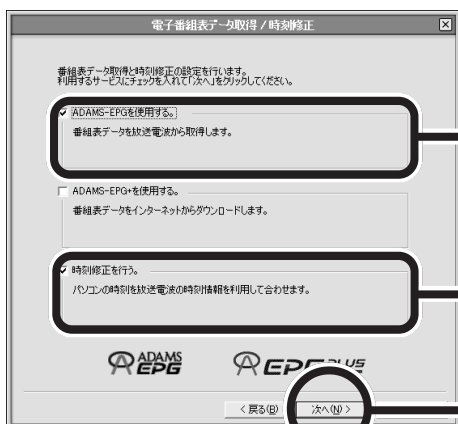
チェック!!

・ＣＡＴＶ番組の視聴方法は、各CATV 会社によって異なります。視聴に、別途ホームターミナルなどの装置が必要となる場合もあります。ホームターミナルなどの装置がなくても受信できるチャンネルがあるかどうかなど詳しくは、各ＣＡＴＶ会社にお問い合わせいただき、TVチューナ経由で視聴可能なチャンネルを確認してからチャンネル設定をおこなってください。

・CATV 番組の放送局については、各CATV会社より届けられているＣＡＴＶ番組表などをご覧ください。

・CATV ホームターミナルを接続してテレビを見る場合は、付録の「CATV 放送を見る」（p.142）をご覧ください。

●番組表受信の設定をする

しばらくすると、次の画面が表示されます。

ADAMS-EPG受信設定

番組表放送時刻取得

番組表データが放送される時刻情報を受信しています。
受信には最長10分かかる場合があります。

中止

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

受信が完了すると、次の画面が表示されます。

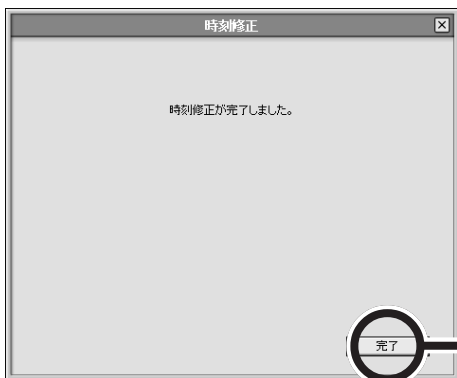
番組表は、インターネットから取得することもできます。インターネットから取得する方法については、PART4の「インターネットから番組表を取得する」(p.60)をご覧ください。

チェック!!

ADAMS放送は地上アナログテレビを利用してデジタルデータを配信するデータ多重放送のことで、番組表はADAMS放送の1コンテンツとして配信されています。ADAMS放送のチャンネルはお住まいの地域によって異なります。
各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下のとおりです(2005年1月現在)。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ~テレ	テレビ朝日

番組表は、約2時間おき(夜間除く)に放送されます。ここでは、その放送時刻情報を受信します。

ここで時刻情報の取得に失敗した場合は、PART4の「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)の手順で後からでも設定できます。

修正が終わると、次の画面が表示される

手順７の画面に戻る

番組表は、画面に表示されている時刻にのみ取得できます。設定が終わっても、取得するまでは番組表は表示されません。
パソコンが省電力状態または電源オフの状態でも、受信時刻になると、自動的に番組表を受信します。

チェック!!

パソコンを複数ユーザーで使っているかた、またはシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、番組表を受信するときはパソコンにログオン(省電力状態を含む)している必要があるので、パソコンを起動している時間を含めて選ぶことをおすすめします。

複数ユーザーでパソコンをお使いの場合、ここで設定をおこなったユーザーアカウント以外でも、受信5分前にログオン(省電力状態を含む)していれば番組表を受信することができます。

パソコンが省電力状態でも、受信時刻になると、自動的に時刻を修正します。

チェック!!

パソコンを複数ユーザーで使っているかた、またはシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、時刻を修正するときはパソコンにログオン(省電力状態を含む)している必要があるので、パソコンを起動している時間を設定することをおすすめします。

これで、SmartVisionの初期設定が終わりました。

設定した時刻になると、自動的に番組表の情報を受信します。受信を開始すると画面右下の通知領域の が に点滅します。受信が終了すると元のアイコンに戻ります。

初期設定が終わると、SmartVisionが起動する

パソコンが省電力状態または電源オフの状態でも、受信時刻になると、自動的に番組表を受信します。

パソコンを複数ユーザーで使っているかた、またはシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、パソコンの電源を切らないでください。

はじめて起動したときには、次の画面が表示されます。

「次回起動時、このダイアログを表示しない。」をクリックして にして、「OK」をクリックしてください。

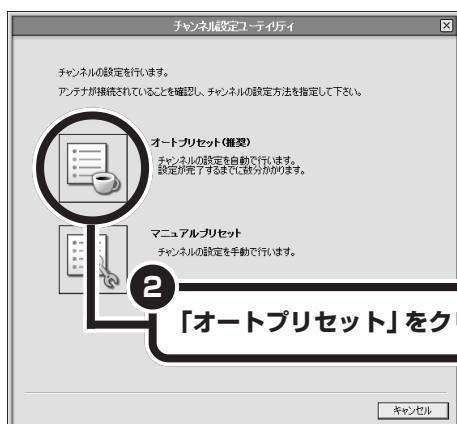
2回目以降にチャンネルを設定する

「チャンネルと番組表の設定をする」の手順で、チャンネルの設定ができなかったときや、引っ越しをしてチャンネルの設定を変える必要があるときは、「チャンネル設定ユーティリティ」で設定します。

番組表に表示するチャンネルを変更したいときは、SmartVision設定ウィンドウの「番組表」-「TV表示チャンネル」タブで設定します。

チャンネル設定ユーティリティで設定する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「チャンネル設定ユーティリティ」をクリックする

チャンネル設定ユーティリティが起動します。

2 「オートプリセット」をクリックする

これ以降は、「チャンネルと番組表の設定をする」(p.11)の手順3以降の手順を見ながら設定をしてください。

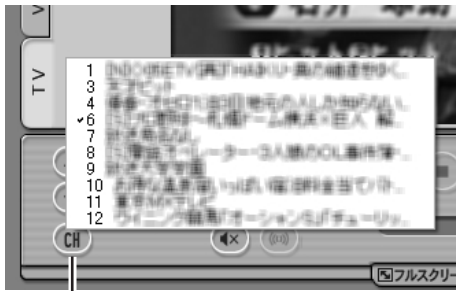
チェック!!

おまかせ録画機能を使っているときに「チャンネル設定ユーティリティ」でチャンネルを設定しなおしたときは、おまかせ録画機能の条件をすべて削除してから、もう一度設定をしなおしてください。

参照

おまかせ録画機能について→PART4の「おまかせ録画機能で録画する」(p.80)

正しくチャンネルの設定ができたか確認する

テレビ番組表の受信が完了していると、チャンネルリストに番組名の一覧が表示されます。また、アドバンストモードの「番組情報」タブで、番組情報を見ることができます。

CHをクリックすると、チャンネルリストが表示される

ポイント

チャンネル設定が終わったら

VALUESTAR S、VALUESTAR SR、LaVie L、LaVie T、LaVie TWでインスタント機能を使ってテレビを見るかたは、これで設定は完了です。
かんたんAV視聴ソフト「MediaGarage（メディアガレージ）」でテレビを見るかたは、次に「ネットワークアダプタの選択」をおこなってください。
「SmartVision」を使ってテレビを視聴する場合は、PART2「テレビを見る」へ進んでください。

テレビ番組表が受信されていないときは、チャンネル番号のみ表示されます。

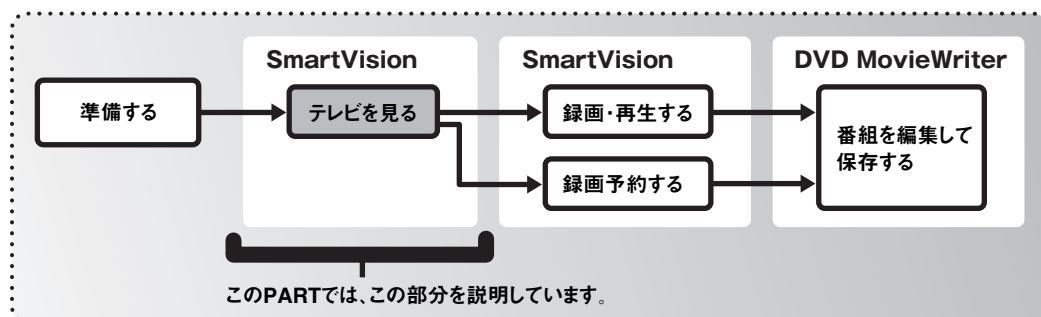
参照

・インスタント機能について→『インスタント機能ガイド』
・「MediaGarage」について→『MediaGarage操作ガイド』
・ネットワークアダプタの選択について→MediaGarageのオンラインヘルプ

PART

2

テレビを見る

SmartVisionを操作して、テレビを見てみましょう。放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりもできます。

※このマニュアルでは、ノーマルモードの画面を使用して、各機能を説明しています。画面モードが異なっている場合は、「目的によって画面モードを切り替える」(p.25)をご覧になり、ノーマルモードに画面を切り替えてください。

テレビ番組を見る

SmartVision を操作して、番組を見てみましょう。

⚠注意

- **ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **VISUAL モード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。**
  ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、VISUAL モードを OFF にしてご使用ください。また、VISUAL モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。DVD 再生あるいは TV、VideoCD 等をご覧いただく以外の場合は VISUAL モード OFF でのご使用をおすすめします。
- **SmartVision を起動する前に、音量を確認し、調整してください。**

VISUAL ボタンについて（VALUESTAR のみ）

VISUALモードは、テレビやDVDをより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。
VISUAL ボタンのついているディスプレイでは、VISUAL ボタンを押して、VISUAL モードにできます。

参照

VISUAL ボタンについて→液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

SmartVisionを利用できる解像度と表示色は、「800 × 600 ピクセル、16bit」以上です。

参照

・解像度と表示色の設定について→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「表示機能」
・音量の設定について→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

利用シーンに合わせてテレビを楽しもう

●リモコンを使ってテレビを見たいときは

かんたんAV視聴ソフト「MediaGarage(メディアガレージ)」ならリモコンを使って、普通のテレビと同じ感覚で楽しむことができます。「SmartVision」と同じ「さかのぼり録画」や「おてがる予約」も使えます。

●すばやくテレビを見たいときは

インスタント機能のあるモデル(VALUESTAR S、VALUESTAR SR、LaVie L、LaVie T、LaVie TW)では、「MediaGarage」や「SmartVision」よりも早くテレビを起動して液晶テレビ感覚で楽しむことができます。

参照

「MediaGarage」について→『MediaGarage操作ガイド』

参照

インスタント機能について→『インスタント機能ガイド』

チェック!!

「SmartVision」で録画予約をした後に、スタンバイ状態や休止状態にする設定にしているときは、録画予約中はインスタント機能を使うことはできません。

SmartVisionの起動と終了

● SmartVisionを起動する

「ソフトナビゲーター」の「目的で探す」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「テレビを見る・録画予約する」-「SmartVision」アイコン -「起動する」をクリックする

画面が表示される

通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision起動」をクリックしても起動できます。

チェック!!

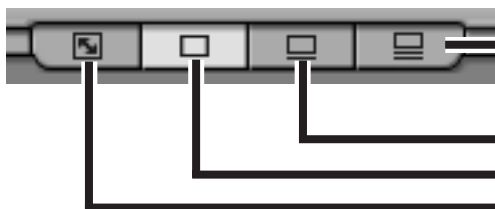
- テレビを視聴中は、できるだけ他のソフトを操作しないでください。
- SmartVision起動中は、DVD視聴ソフトなどと同時に使用することはできません。
- SmartVisionは、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントまたは制限付きユーザーアカウントでログオンしてご利用ください。Guestアカウントでログオンしても利用できません。

● SmartVisionを終了する

1 をクリックする

通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision終了」をクリックしても終了できます。

目的によって画面モードを切り替える

SmartVisionには、ノーマル/アドバンスト/スリム/フルスクリーンの4つの画面モードがあります。
画面下にある「画面モード切り替えタブ」を使って画面を切り替えます。

画面モード	説明
ノーマル	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンスト	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や静止画キャプチャ、ブックマーク、番組の詳細情報の表示などができます。
スリム	チャンネル切り替えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。小さな画面で表示されます。
フルスクリーン	ディスプレイ全体に映像を表示します。

●ノーマルモード

ソースタブ
TV/VIDEO/外部入力を切り替えます。

ヘルプ
SmartVision のオンラインヘルプを表示します。

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

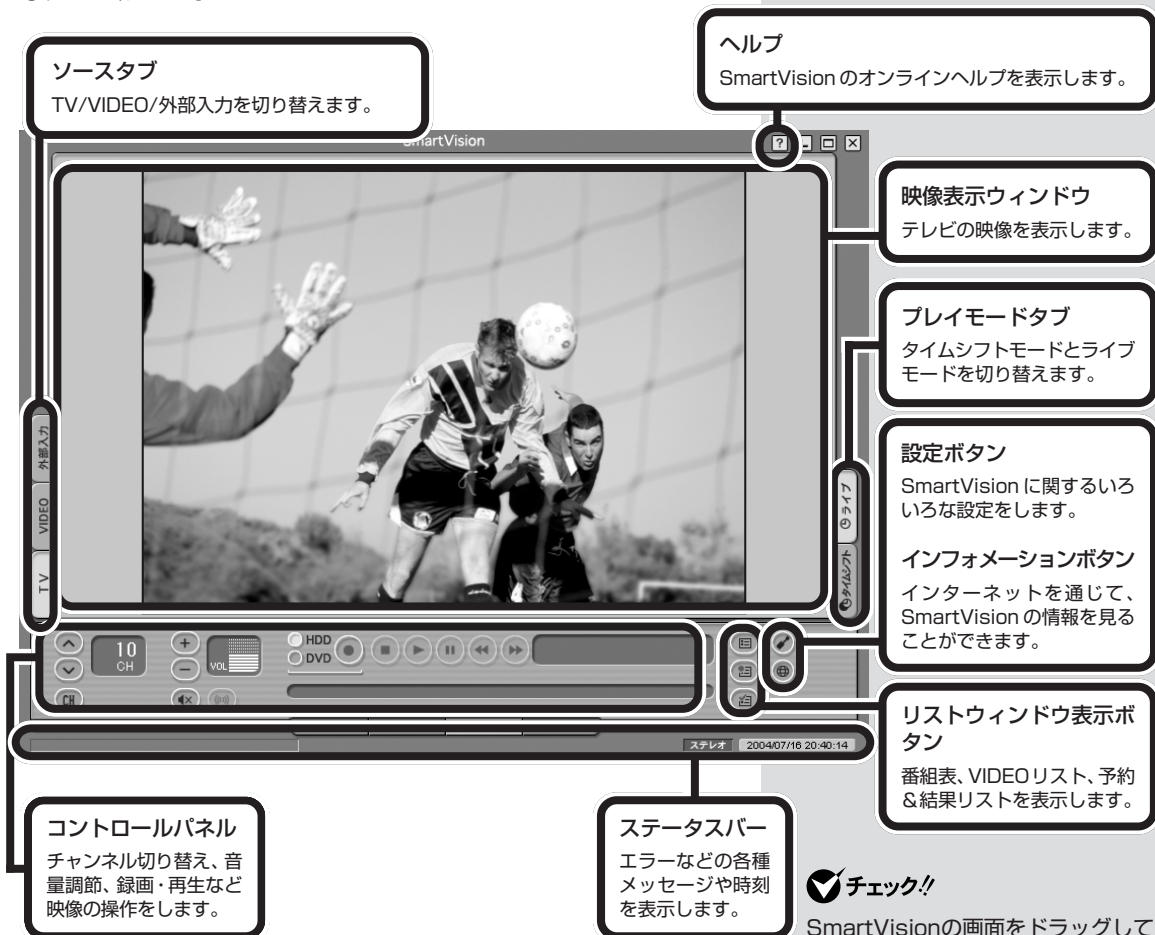
プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り替えます。

設定ボタン
SmartVision に関するいろいろな設定をします。

インフォメーションボタン
インターネットを通じて、SmartVision の情報を見ることができます。

リストウィンドウ表示ボタン
番組表、VIDEOリスト、予約&結果リストを表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り替え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

コントロールパネル

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調整できます。
録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。
ライブモード時：何も表示されません。

チェック!!

SmartVisionの画面をドラッグして広げると、設定ボタン・インフォメーションボタン・リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。

チェック!!

映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

●アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「番組情報」タブ、「シーン・・」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り替えて操作します。

「番組情報」タブ

SmartVision

録画可能時間を表示します。

番組開始、終了時刻を表示します。

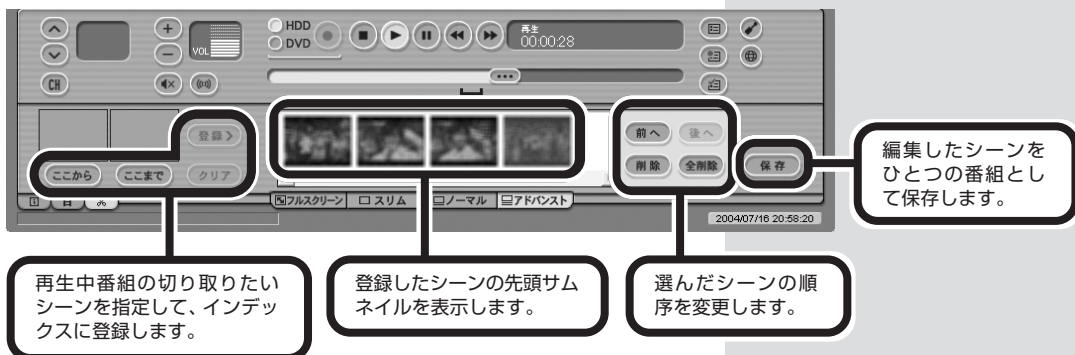
番組名を表示します。

ポップアップを開いて、番組の詳細情報を表示します。（番組情報がある場合のみ）

視聴中の放送局名を表示します。

「シーン・・」タブ

＊1録画番組の再生時または
　タイムシフトモード時のみ
＊2録画番組の再生時のみ

「簡易編集」タブ（録画番組再生時）

●スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

●フルスクリーンモード

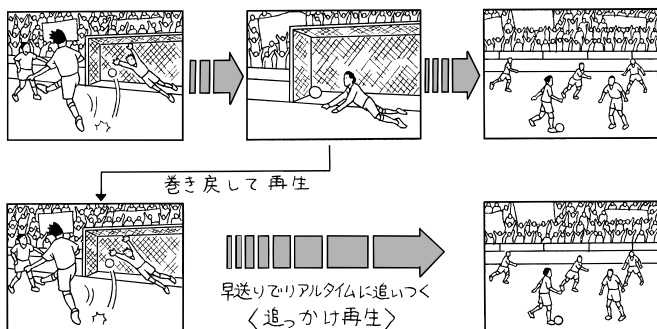
ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスをクリックするともとに戻ります。

ノーマルモード・スリムモード・アドバンストモード時に、映像を表示している領域をダブルクリックすると、フルスクリーンモードに切り替わります。

タイムシフトモードで番組を見る

タイムシフトモードにしておくと、見ている放送を巻き戻して見ることができます。

タイムシフトモードでできること

「タイムシフトモード」では、見ている番組を一時停止したり、巻き戻しすることができます。たとえば突然電話があったとき、一時停止してから続きを見たり、決定的な瞬間を見逃してしまったときは巻き戻して見ることができます。

タイムシフトモードとライブモードを切り替える

画面右にあるプレイモードタブをクリックしてタイムシフトモードとライブモードを切り替えます。

「タイムシフト」をクリック

ライブモードはタイムシフトを使わずにふつうにテレビを見るモードです。ライブモードでは、一時停止や巻き戻しはできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする

タイムシフトモードはコントロールパネルで操作します。

●一時停止する

コントロールパネルの（一時停止）をクリックする

一時停止可能な時間は、ご購入時の状態で最大5分に設定されています。

●巻き戻す

（巻き戻し）をクリックする

巻き戻すことができる時間はご購入時の状態で「5分前まで」です。最大90分まで設定できます。

をクリックするたびに、巻き戻しスピードがx3・x10・x50と速くなります。タイムシフトの先頭まで巻き戻すと、巻き戻しボタンは使用できなくなります。

●早送り（追っかけ再生）をする

（早送り）をクリックする

をクリックするたびに、早送りのスピードがx3・x10・x50と速くなります。リアルタイムに追い付くと、早送りボタンは使用できなくなります。

●再生する

一時停止や巻き戻し、早送りのときに（再生）をクリックすると、再生が始まります。

チェック!!

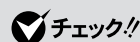
タイムシフトモードで視聴しているときに録画画質の設定を変更すると、それまでのタイムシフトはクリアされます。

参照

一時停止時間や巻き戻し時間の変更について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チャンネルを切り替える

チャンネルを切り替えて、いろいろな番組を見てみましょう。

チェック!!

チャンネルを切り替えるときは、1秒以上間隔をあけて操作してください。

チャンネルコントロールで切り替える

チャンネルを切り替えるには、SmartVision画面の「チャンネルコントロール」を使います。

チャンネルコントロール

●チャンネル番号を入力する

1 10 CH をクリックする

2 キーボードからチャンネル番号を入力する

5秒間待つか、【Enter】を押すとチャンネルが切り替わります。

●チャンネルリストから選ぶ

1 CH をクリックする

チャンネルリストが表示されます。

2 見たいチャンネルをクリックする

チャンネルが切り替わります。

●チャンネルボタンで切り替える

^ をクリックすると、次のチャンネル（数字が大きいチャンネル）に切り替わります。

v をクリックすると、前のチャンネル（数字が小さいチャンネル）に切り替わります。

キーボードの【Ctrl】＋【↑】キー／【Ctrl】＋【↓】キーでも同じように操作できます。

キーボードで切り替える

キーボードの【Ctrl】を押しながら、【1】〜【^】を押して、チャンネルを切り替えることができます。

イラストはVALUESTAR Lのものです。キーボードの形状はモデルによって異なります。

参照

・VALUESTAR GタイプC、LaVie TW

キーボードについて→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「キーボード」

・その他のモデル

キーボードについて→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「キーボード／ワンタッチスタートボタン」

番組表を使って切り替える

番組表を使って、見たい番組を表示します。

1 (番組表) をクリックする

番組表が表示される

2 現在放送されている時間帯の中から、見たい番組を選んでダブルクリックする

現在の時刻が青い線で表示されます。

選択しているチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

3 (番組表) をクリックする
もとの画面に戻ります。

番組表の使い方について詳しくは、PART4の「番組表を使う」(p.56) をご覧ください。

参照

番組表を受信するには→ PART4の「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)

放送開始前の番組を選んだときは、「予約設定」画面が表示されます。

参照

「予約設定」画面について→ PART4の「番組を予約する」(p.67)

音量や音声を変える

パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。また、音声多重放送（ステレオ放送、二カ国語放送など）のときに、音声を切り替えることができます。

音声コントロールで調節する

SmartVision の「音声コントロール」で音量を調節します。

SmartVision の音量は、Windows の「ボリュームコントロール」（または「Volume Control」）の「WAVE」「CD プレーヤー」（または「WAVE」「Video」）と連動しています。

※ 表示される「ボリュームコントロール」は、お使いのパソコンの環境により、上記とは異なる場合があります。

チェック!!

「Video」は標準の状態では表示されません。表示するときは、「オプション」-「プロパティ」をクリックして、「表示するコントロール」から選んでください。

ディスプレイ、キーボードで調節する（VALUESTAR）

●ディスプレイのスピーカで調節する（液晶ディスプレイ一体型モデルを除く）

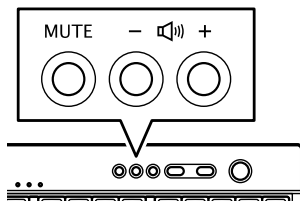
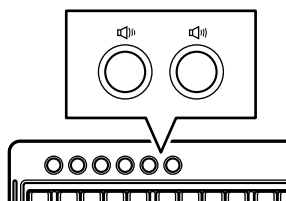
「+」を押すと音が大きくなり、「－」を押すと音が小さくなります。

●キーボードで調節する（VALUESTAR G タイプ C を除く）

VALUESTAR S では、🔈))を押すと音が大きくなり、🔈)を押すと音が小さくなります。

その他のモデルでは、【+】を押すと音が大きくなり、【－】を押すと音が小さくなり、【MUTE】を押すと消音 / 消音の解除ができます。

・VALUESTAR S

・その他のモデル

●本体の音量調節つまみで調節する（VALUESTAR G タイプ C）

音量調節つまみを右にまわすと音が大きくなり、左にまわすと音が小さくなります。

チェック!!

・スピーカの音量が最小になっていると、SmartVisionの音声コントロールで「+」を押してもスピーカからの音は大きくなりません。
・スピーカの音量を調節しても、SmartVision に表示される VOL の表示は変化しません。
・キーボードのボリュームボタンは、Windows の「音量」「ボリュームコントロール」（または「Volume Control」）の「ボリューム コントロール」（または「Volume Control」）と連動しています。

参照

ボリューム コントロールについて→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

音量調節つまみ、ボリュームボタンで調節する（LaVie）

●音量調節つまみで調節する（LaVie L）

つまみを右にまわすと音が大きくなり、左にまわすと小さくなります。

チェック!!

音量調節つまみの音量が最小になっていると、SmartVisionの音声コントロールで【＋】を押しても音量は大きくなりません。また、スピーカの音量を調節しても、SmartVisionに表示されるVOLの表示は変化しません。

●ボリュームボタンで調節する（LaVie T、LaVie TW）

【＋】を押すと音が大きくなり、【－】を押すと音が小さくなります。

音声を切り替える

音声多重放送（ステレオ放送、二ケ国語放送など）のときに をクリックすると、音声を切り替えられます。

・ステレオ放送のとき
（L：左音声をモノラル出力）→（R：右音声をモノラル出力）→（L － R：ステレオ音声を出力）→（L：左音声をモノラル出力）→・・・

・二ケ国語放送のとき
（主音声）→（副音声）→（主・副）→（主音声）→・・・

音声の切り替えは、タイムシフトモード時と録画番組の再生時のみできます。

L（左音声のみ）／R（右音声のみ）の場合、両方のスピーカに同じ音が出力されます。

字幕放送を見る

番組表で字のマークがついている番組では、字幕放送を見ることができます。

字幕放送の設定をする

SmartVisionで字幕放送を見るには、次の手順で設定してください。字幕放送はライブモード時のみ表示されます。
字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。

参照

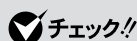
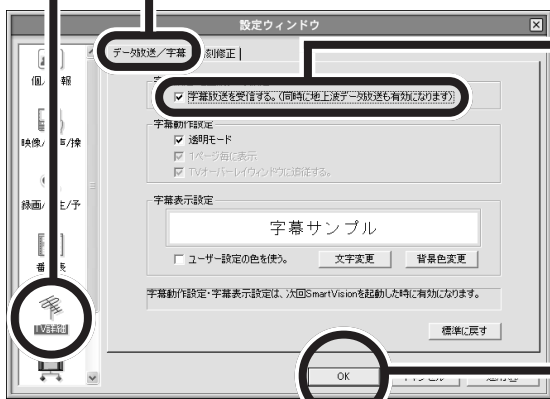
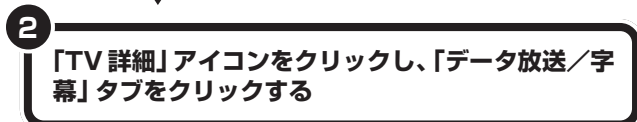
ライブモード→このPARTの「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」(p.29)

1 (設定)をクリックする

「設定ウィンドウ」が表示される

ライブモードで字幕を受信する設定を行うと、画面右下の通知領域に字が表示されます。この表示がされている状態で字幕放送がおこなわれている番組にチャンネルを合わせると、字幕が表示されます。

2 「TV詳細」アイコンをクリックし、「データ放送/字幕」タブをクリックする

3 「字幕放送を受信する。」をクリックして☑にする

チェック!!

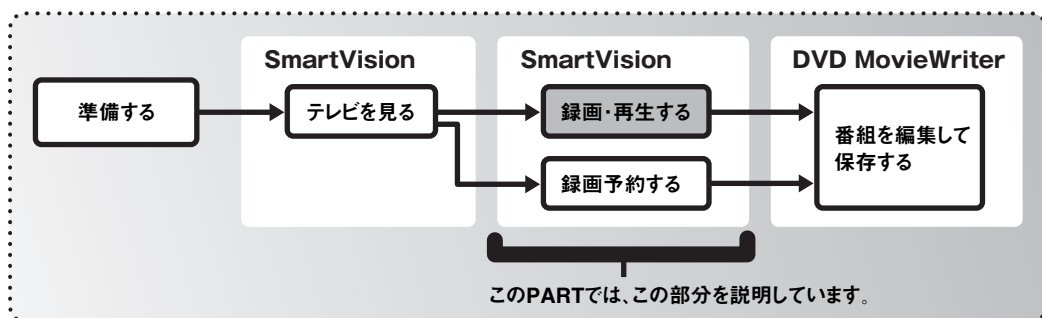
設定ウィンドウで字幕を受信する設定にしても、字幕が表示されない場合は、通知領域の字をクリックして表示されるメニューで「字幕表示」にチェックを付けてください。

4 「OK」をクリックする

PART

3

録画と再生をする

SmartVision を使うと、テレビの番組を録画したり、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻したところから録画したりできます。今までのテレビではできなかった、便利な使い方がたくさんあります。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

録画の前に

テレビ番組を録画する前に、知っておいていただきたいことについて説明します。

録画について

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。
ハードディスクにどれだけ録画できるかは、ハードディスクの空き容量とどの画質で録画するかによります。
また、テレビ番組をDVD-RAMに直接録画することもできます。

●画質とハードディスク容量について

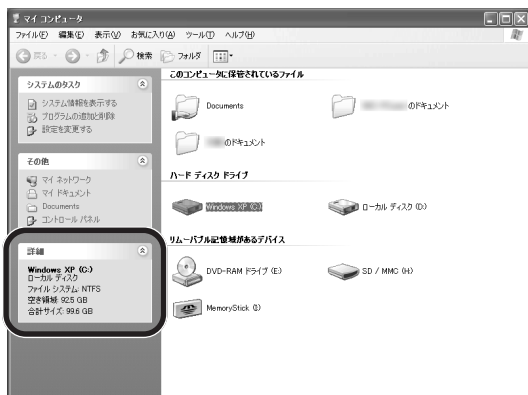
SmartVisionで録画をするときは、いくつかの画質が選べます。同じ番組でも画質によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意してください。
設定ウィンドウの「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「画質」で設定します。
設定できる画質と、1時間録画するのに必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

チェック!!

- パソコンを長時間使用した後予約録画をする場合は、一度、パソコンを再起動させ、その後、予約録画の設定をおこなってください。また番組再生するときも、パソコンを再起動させた後に再生することをおすすめします。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してご使用ください。

画　質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組をあとでDVD MovieWriterで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約950Mバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたいときに向いています。
超長時間	約660Mバイト	画質は落ちますが、ファイルサイズを最小にして「長時間」以上の録画ができます。
ユーザ設定	約600Mバイト〜約6.5Gバイト（設定によって異なります）	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識がある方向けの設定です。VideoCDに設定すると、CD-RにVideoCD方式で保存できます。

●空き容量を確認する

ハードディスク容量は、「マイコンピュータ」でドライブをクリックすると「詳細」欄に表示されます。

●録画（動画キャプチャ）の制限について

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

・ハードディスクの残り容量が、設定ウィンドウの「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「録画を停止する空き容量サイズ」で設定している容量（ご購入時の状態では「300Mバイト」）より少なくなったとき

●編集目的で録画するときの注意

・SmartVisionで録画したテレビ番組を、あとでDVD MovieWriterで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。

・市販の編集ソフトでは、データサイズや画質により編集できないことがあります。編集ソフトの仕様に合わせて設定してください。また、市販の編集ソフトでは、長時間録画したMPEGデータを編集できないことがあります。録画のデータサイズは、4Gバイトを目安に録画してください。

・SmartVisionで録画した映像を、あとでDVD MovieWriterを使ってDVDタイトルに加工する場合は、以下のモードで録画することをおすすめします。

- 高画質、標準、長時間、超長時間

ユーザ設定モードで録画する場合は、次のように設定してください。

- MPEG2（CBR）の場合：ビットレート8Mbps以下
- MPEG2（VBR）の場合：ビットレート4Mbps以下

・ぴったり録画では、DVD（4.7Gバイト）換算で、DVD約1枚分、1/2枚分、1/3枚分、またはユーザーの設定したサイズでの録画が可能です。

キャプチャ、キャプチャする

静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容（静止画や動画など）は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

参照

ぴったり録画について→PART4の「ぴったり録画で録画する（サイズを決めて録画する）」（p.77）

テレビ番組を録画する

テレビ番組を録画する基本的な操作について説明しています。

見ている番組をパソコンに録画する

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 録画したい番組を表示する

3 (録画) をクリックする

録画が始まります。

録画中は、カウンターに録画時間または録画終了までの時間が表示されます。

録画時または録画中に を連続してクリックすると、録画時間を次のように設定できます。

エンドレス（停止ボタンをクリックするまで）→番組終了まで※→15分→30分→60分→90分→120分→エンドレス（停止ボタンをクリックするまで）→…

※番組表を受信していない場合はエンドレスとなります。

参照

テレビ番組のチャンネル切り替え→PART2の「チャンネルを切り替える」（p.31）

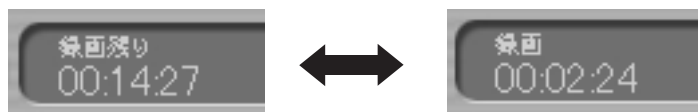
チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的に録画は終了します。

カウンターをクリックすると次のように録画時間表示が変わります(エンドレスで録画している場合を除く)。

録画残り
00:14:27

録画
00:02:24

4

録画を終了するときは■(停止)をクリックする
「エンドレス」以外では、指定した時間になると、自動的に録画が終了します。

録画した番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。録画した番組を再生するときは、このPARTの「録画したテレビ番組を再生する」(p.46)をご覧ください。
また、録画終了を待たずに再生することもできます。詳しくは、このPARTの「録画しながら再生する」(p.45)をご覧ください。

録画した番組の名称は、次のルールで決定されます。

- 番組表のデータがある場合
  番組表の「番組情報」欄の《番組名》に表示されている番組名称がそのまま使われます。
- 番組表のデータがない場合
  「番組名なし」になります。

参照

- 録画に必要なハードディスク容量について→このPARTの「録画について」(p.38)
- 番組表を受信する→PART4の「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)

テレビ番組をDVDに直接録画する

このパソコンでは、テレビ番組をDVD-RAMに直接録画することもできます。

見ている番組をDVD-RAMに保存する

1 SmartVisionを起動する（p.24）

2 パソコンにDVD-RAMをセットする

3 録画したい番組を表示する

4 DVD（DVD）をクリック

チェック!!

- DVD直接録画では、DVD-VR形式で保存されます。DVD-Video形式では録画できません。
- 録画画質を「ユーザ設定」-「VideoCD」にしているときは、352×240　VBR1.2Mbpsで録画されます。

参照

メディアのセットのしかたについて→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

チェック!!

録画に使うDVD-RAMはUDF形式（UDF2.0）でフォーマットする必要があります。
設定ウィンドウの「録画／再生／予約」-「DVD直接録画」の「ディスクのフォーマット」欄で「フォーマット」をクリックし、フォーマットしたDVD-RAMを使用してください。

5

(録画）をクリックする

録画が始まります。
録画中は、カウンターに録画時間または録画終了までの時間が表示されます。
録画開始時および録画中にを連続してクリックすると、録画時間を設定できます（p.40）。

6

録画を終了するときは、（停止）をクリックする

「エンドレス」以外では、指定した時間になると、自動的に録画が終了します。

録画した番組の名称は、次のルールで決定されます。

・番組表のデータがある場合
番組表の「番組情報」欄の《番組名》に表示されている番組名称がそのまま使われます。

・番組表のデータがない場合
「番組名なし」になります。

チェック!!

・をクリックしてから実際に録画が始まるまでに５秒程度かかります。
・DVD-RAMに録画できない場合は、書き込み可能なDVD-RAMがセットされているか確認してください。

録画した番組を再生するときは、PART5の「DVDを再生する」（p.97）をご覧ください。

さかのぼり録画をする（タイムシフト録画）

録画していなかった番組でも、タイムシフトモードで見ているときは、番組をさかのぼって録画したり、録画しながら、すでに録ったシーンを再生したり、巻き戻したり、早送りをしてリアルタイムに追いつくこともできます。

タイムシフトモードで番組を見ているときは、録画していないときでも、一定時間の間番組データはパソコンのハードディスクに保存されます。さかのぼり録画では、このデータを使って「録画」「一時停止」「再生」「巻き戻し」を行います。

タイムシフトモードで巻き戻し中に進行しているシーンもカットされることなく、録画できます。

番組をさかのぼって録画する

番組をしばらく見ていて、「さっきのシーンから録画しておけばよかった」というときに利用します。

チェック!!

- さかのぼり録画は、あらかじめタイムシフトモードになっていないとご使用になれません。
- 巻き戻せるのは、それまでタイムシフトモードで見ていた番組に限ります。それまで受信していなかった番組や、ライブモードで受信していた番組を巻き戻して録画することはできません。
- 録画画質を「ユーザ設定」-「VideoCD」に設定しているときは、さかのぼり録画はできません。
- 録画保存先がDVDのときは、さかのぼり録画はできません。

巻き戻せる時間は1分〜90分の間で設定できます（ご購入時の設定では5分です）。

1 （巻き戻し）をクリックする

カウンターに、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間が表示されます。

をクリックするたびに、巻き戻しスピードがx3・x10・x50と速くなります。タイムシフトの先頭まで巻き戻すと、巻き戻しボタンは使用できなくなります。

2 （再生）をクリックする

3 録画を開始したい場面で、（録画）をクリックする

録画開始時および録画中にを連続してクリックすると、録画時間を設定できます（p.40）。

4 リアルタイムに追い付きたいときは、（早送り）をクリックする

をクリックするたびに早送りのスピードがx3・x10・x50と速くなります。リアルタイムに追い付くと、早送りボタンは使用できなくなります。

5 録画を終了するときは、（停止）をクリックする

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追い付いてから停止することをおすすめします。

チェック!!

タイムシフトでさかのぼって録画する場合、それまですでにハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

録画しながら再生する

録画している最中に、すでに録ったシーンを巻き戻して再生したり、早送り再生をして、リアルタイムの放送に追い付くこともできます。予約録画し、録画を終了しないうちに帰宅したため、さっそく番組の冒頭から見始めたいときなどに利用します。

1 録画中に（巻き戻し）をクリックする

をクリックするたびに、巻き戻しスピードがx3・x10・x50と速くなります。タイムシフトの先頭まで巻き戻すと、巻き戻しボタンは使用できなくなります。

2 （再生）をクリックする

巻き戻したところから再生が始まります。

3 リアルタイムに追い付きたいときは、（早送り）をクリックする

をクリックするたびに追い付くスピードが速くなります。リアルタイムに追い付くと、早送りボタンは使用できなくなります。

録画中に一時停止や再生、早送りをしても録画は中断されないでそのまま続行されています。

4 録画を終了するときは、（停止）をクリックする

録画を終了するときは、手順3の方法でリアルタイムに追い付いてから停止することをおすすめします。

録画したテレビ番組を再生する

録画した番組を再生してみましょう。

VIDEO リストから選んで再生する

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 (VIDEO リスト）をクリックする

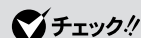
「VIDEO リスト」が表示される

通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「VIDEO リスト拡大表示」をクリックしても VIDEO リストを表示できます。

3 再生したい録画番組の保存先を指定する

通常は、「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブの「録画番組保存先」で指定した保存先（ご購入時の状態では「C:¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥SV Video」）が表示されます。変更する場合は「フォルダ」欄に表示されているフォルダを指定するか、「追加」をクリックして番組が保存されているフォルダを指定してください。

参照

録画番組の保存先を変更するには→オンラインヘルプの「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」

チェック!!

予約録画をしたのに、一覧に番組のタイトルがない場合は、「結果リスト」で予約結果を確認してください。

参照

結果リストについて→PART4の「予約した録画が成功したか確認する」(p.76)

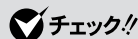
4 再生したい番組をクリックする

選んだ番組が反転表示されます。
水色で表示されている番組は、まだ一度も再生していない番組です。
番組名に「シークレット録画」と表示されている番組は、録画したユーザーアカウント以外では再生できません。再生する場合は、録画したユーザーでログオンしてください。

5 再生（再生）をクリックする

再生が始まります。

6 再生を終了するときは■（停止）をクリックする

再生を停止します。
次に再生するときには、停止した場所から再生できます。

チェック!!

- ■（停止）をもう一度クリックすると、番組の先頭に戻ります。
- 再生中に他の番組の再生に切り替えたり、SmartVisionを終了した場合でも、次に再生するときには、その場所から再生されます。

サムネイルから見たいシーンを再生する

シーンインデックス機能を使うと、録画した番組の場面の変わり目をサムネイルで表示することができます。ブックマーク（頭出し印）を追加することもできます。また、表示されている映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

1 アドバンストモード画面の「シーン…」タブをクリックする

シーンインデックスが表示される

ブックマークの場面（画面左上に赤い が表示されます）

再生中の画面
（画面中央下に赤い が表示されます）

選んだ画面
（画面全体に がかかっています）

画面サイズによっては、「シーン…」タブは次のように表示されます。

チェック!!

シーンインデックスで表示されている （再生中の場面）の位置は、短縮再生した場合、一致しないことがあります。

●ブックマークを登録する

ブックマークは、後で繰り返し再生したいシーンなどに頭出しのための印を入れて、しおりの役目をするものです。再生中のほか、タイムシフト視聴時でも登録できます。

1 ブックマークを登録したい場面で ブックマーク登録 をクリックする

画面左上に赤い が表示されます。

をクリックすると、前のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは前のシーンに戻ります。 をクリックすると、次のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは次のシーンに進みます。ブックマークもシーンもない場合は、それぞれ録画の先頭と最後に進みます。

チェック!!

- 登録できるブックマークは 50 個までです。
- ライブモードで視聴中はブックマークを登録できません。

●見たい場面に移動する

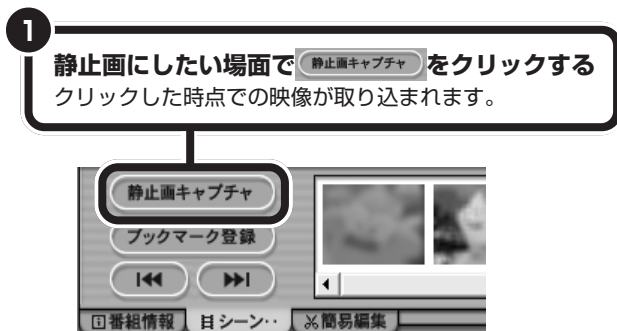
シーンインデックス機能を使うと、サムネイルで表示されている場面に移動することができます。

選んだ場面に移動します。

●静止画にしてパソコンに取り込む

表示されている映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

パソコンに取り込むことのできる静止画サイズは、SmartVisionのモードや録画した番組の画質によって異なります。タイムシフトモード時の画質は、「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「画質」で設定した画質になります。

ライブモード	320×240ドット
超長時間録画データ	352×240ドット
長時間録画データ	720×480ドット
標準画質録画データ	720×480ドット
高画質録画データ	720×480ドット
ユーザ設定録画データ	設定によって異なります

チェック!!

・ご購入時の状態では、「C:¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥SV Video¥Capture」に保存されます。
・キーボードの【C】を押しても静止画キャプチャをおこなえます。

チェック!!

取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して、縦横比率を修正してください。

特殊再生モードを使う

録画した画像や音声を自動抽出してダイジェスト版で再生することができます（特殊再生）。
特殊再生には、次の３つのモードがあります。

- **音声付き変速再生**
  シーンはカットせず、すべてのシーンを早送りで再生する方法。音声も早送りで出力されます。
- **短縮再生（録画番組再生時のみ）**
  会話や字幕のあるシーンだけを通常スピードで再生する方法。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。
- **リピート（録画番組再生時のみ）**
  録画した番組を自動で繰り返し再生します。

選んだモードで特殊再生が始まります。

場面の切り替わるところには、SmartVisionが自動的に作成するブックマークが追加されています。

短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り替わりや、画面下部３分の１に表示されるテロップなどを参考に画像検出をおこなっています。したがって、映像の表示内容によっては、期待した抽出効果が得られない場合があります。

設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」-「再生 / 編集」タブの「変速再生の再生倍率」で再生倍率を変更すると、音声付き変速再生の速さを設定できます。
「短縮再生の短縮率」で短縮率を変更すると、録画時間に対する短縮の割合を設定できます。

録画した番組データを整理する

録画した番組データを別のフォルダに移動できます。「連続ドラマを 1 つのフォルダにまとめたい」など、録画番組を整理するときに使うと便利です。また、見終わった番組など不要になった番組データを削除することもできます。

録画した番組データを移動する

VIDEOリストの番組データを同じドライブの別のフォルダへドラッグ&ドロップすると、番組データを移動できます。

別のドライブにドラッグ& ドロップすると、番組データはコピーされます。

●移動先のフォルダを用意する

ここでは、Windowsで「共有ドキュメント」の中に移動先のフォルダを作成する手順を説明します。

1. **「スタート」-「マイコンピュータ」をクリックする**
   「マイコンピュータ」が表示されます。

2. **「共有ドキュメント」をダブルクリックする**

3. **「ファイル」-「新規作成」-「フォルダ」をクリックする**
   新しいフォルダが作成されます。

4. **フォルダの名前を入力し、【Enter】を押す**
   ここでは「ドラマ」というフォルダ名にします。

これで、移動先のフォルダが用意できました。

●番組データを移動する

1 SmartVisionを起動する(p.24)

2 (VIDEOリスト)をクリックする

↓「VIDEOリスト」が表示される

3 移動先のフォルダを追加する場合は 追加 (追加)をクリックし、「フォルダの参照」画面で移動先のフォルダをクリックし、「OK」をクリックする

新しいフォルダが「フォルダ」欄に追加されます。

4 移動したい番組をクリックする

5 選んだ番組を移動先のフォルダにドラッグ&ドロップする

番組が移動します。移動した番組は、移動元のリストから削除されます。

これで、番組データが移動しました。

チェック!!

移動したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選ぶことができます。

チェック!!

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んだときは、「他のユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか?」または「他のユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか?」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- 移動先が移動元と異なるドライブの場合は、選んだ番組がコピー(エクスポート)されます。移動元の番組データを削除したいときは、次の「録画した番組を削除する」をご覧になり、番組データを削除してください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動またはコピーすると、そのユーザーからは番組データがどのフォルダに移動、コピーされたのか、わからなくなります。

録画した番組データを削除する

見終わった録画番組など、不要な番組データは、VIDEOリストから削除できます。

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 （VIDEO リスト）をクリックする

「VIDEO リスト」が表示される

3 削除したい録画番組をクリックする

4 （削除）をクリックする

次の画面が表示される

5 「はい」をクリックする

これで、番組データが削除されました。

チェック!!

削除したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選ぶことができます。

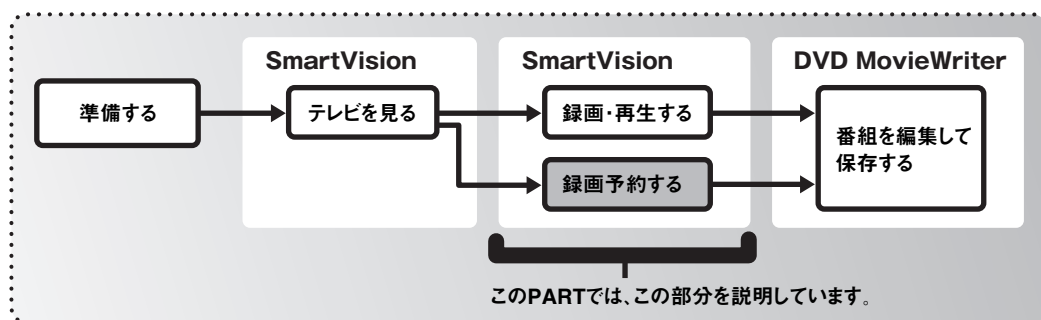
チェック!!

複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組を選んだときは、「他のユーザーの番組ですが、削除してもよろしいですか？」または「他のユーザーの番組が含まれていますが、削除してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組も削除されます。削除しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組を選びなおしてください。

PART

4

視聴/録画予約する

SmartVisionでは、番組表を使って、見たい番組を見のがさないように視聴予約したり、録画予約することができます。また、ジャンルや出演者など、いろいろな条件で番組を探すこともできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

番組表を使う

クリックすると予約もできる番組表を使ってみましょう。

番組表を見る

SmartVisionでは、テレビの番組表を受信して画面上に表示できます。表示した番組表から録画予約をしたり番組の詳細情報を見たりと便利な使い方ができます。

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 （番組表）をクリックする

番組表が表示される

チェック!!

通知領域にある をを右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。

チェック!!

通知領域の が点滅しているときは、番組表の受信中です。まだ番組表が受信できていないときは、 をクリックしても、完全な番組表は表示されません。受信が終わるまでお待ちください。

●番組表の画面について

●番組表について

番組表は、ADAMS 放送の 1 コンテンツとして配信されています。ADAMS放送は、それぞれの地域のテレビ朝日系列の放送局から受信されます。現在、北海道、関東（栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川）、中部（愛知、岐阜、三重）、関西（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）、福岡（ただし一部局を除く）の各地方（県域）の番組情報は原則として８日分、その他の地方は２日分となっています。
この日数は、今後予告なく変更される可能性があります。

各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下のとおりです（2005 年 1 月現在）。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ～テレ	テレビ朝日

番組表の受信時刻を変更する

番組表の受信時刻と録画する番組の放送時間が重なっているときなどに、番組表を自動受信する時刻を変更する方法について説明しています。

1 （設定）をクリックする

「設定ウィンドウ」が表示される

2 「番組表」アイコンをクリックし、「TV 番組表データ」タブをクリックする

3 「ADAMS-EPG を使用する。」の左が☑になっていることを確認して、「設定」をクリックする

「ADAMS-EPG 受信設定」が表示される

チェック!!

番組表はADAMS放送の 1 コンテンツとして受信されます。ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを設定していないと、番組表は受信できません。また、受信中にチャンネルを変更しても番組表を受信できません。

参照

ADAMS放送が受信できる放送局について→「番組表について」(p.57)

パソコンが省電力状態または電源オフの状態でも、受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

チェック!!

パソコンを複数ユーザーで使っているかた、またはシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、番組表を受信するときはパソコンにログオン（省電力状態含む）している必要があるので、パソコンを起動している時間を含めて選ぶことをおすすめします。

インターネットから番組表を取得する

インターネットを通じて番組表を更新することもできます。

通常の番組表は、地上アナログデータ放送を使って配信されていますが、インターネットを使っても更新できます。
インターネットを使って更新すると、いつでも欲しいときに番組表を更新できます。

ADAMS-EPG+（電子番組表）の設定をする

インターネットから番組表を取得するには、ADAMS-EPG+(PLUS)というサービスを利用します。

1 SmartVisionを起動する（p.24）

2 （設定）をクリックする

↓ 「設定ウィンドウ」が表示される

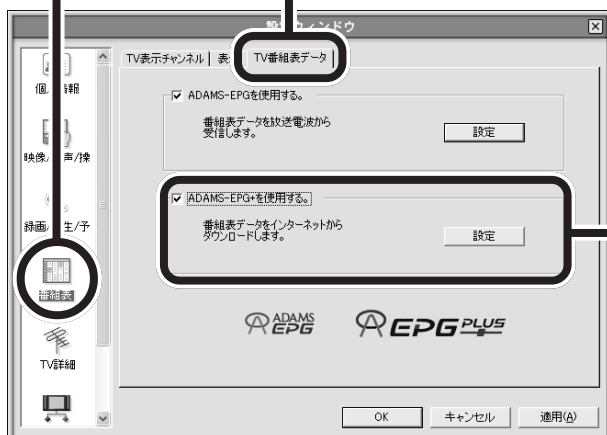
チェック!!

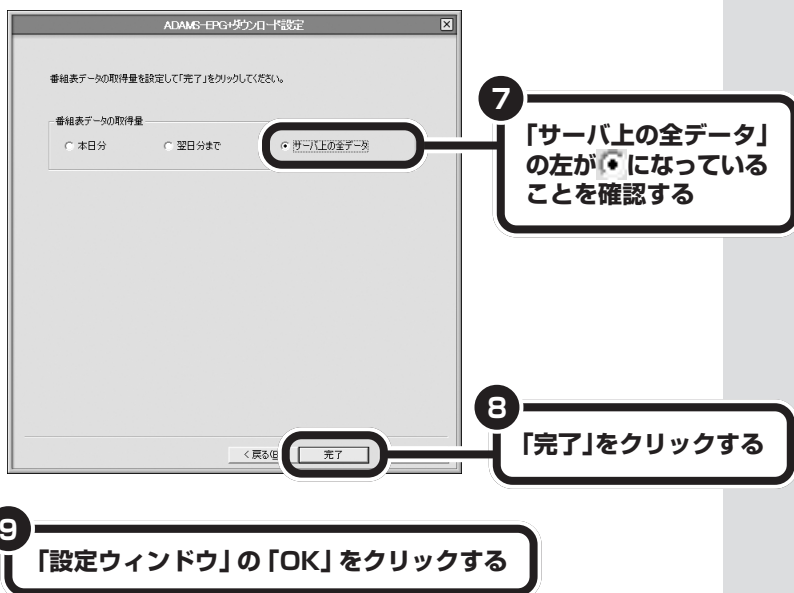
セキュリティソフトによっては、ADAMS-EPG+で番組表をダウンロードできない場合があります。その場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。

インターネットに接続するための電話料金およびプロバイダ料金はお客様の負担となります。

ADAMS-EPG+で番組表を更新するには、インターネット接続の環境が必要です。あらかじめ、インターネット接続の環境を用意してください。

参照

インターネット接続について→『準備と設定』の第5章「これからインターネットを始めるかたへ」

3
「番組表」アイコンをクリックし、「TV 番組表データ」タブをクリックする
TV表示チャンネル
TV番組表データ
ADAMS-EPGを使用する。
番組表データを放送電波から受信します。
設定
ADAMS-EPG+を使用する。
番組表データをインターネットからダウンロードします。
設定
番組表
TV詳細
OK
キャンセル
適用(A)
4
「ADAMS-EPG+ を使用する。」の左の□をクリックして☑にして、「設定」をクリックする
ADAMS-EPG+ダウンロード設定
ADAMS-EPG+のダウンロード設定を行います。
インターネットへの接続方法を設定して「次へ」をクリックしてください。
LAN接続
ダイヤルアップ
接続
ID
パスワード
自動的に回線を切断する
パスワードを保存する
5
インターネットへの接続方法を設定する
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
6
「次へ」をクリックする

9 「設定ウィンドウ」の「OK」をクリックする

これで、ADAMS-EPG+ の設定が完了しました。

番組表をダウンロードする

ADAMS-EPG+ の設定が終わっていれば、いつでも番組表を更新できます。

1 (番組表)をクリックする

番組表が表示される

2 **番組表取得 をクリックする**

「ADAMS-EPG+番組データ受信」の画面が表示されます。

「ADAMS-EPG+番組データ受信」画面が表示され、自動的に番組表が受信されます。

チェック!!

ADAMS-EPG+から番組表データをダウンロードするときに、次の画面が表示された場合は「アクセスを承認」をクリックしてください。一度クリックすると、次回からこの画面は表示されません。

をクリックすると、テレビ画面に戻ります。

番組を予約する前に

録画予約の前に、録画時間がずれないようにパソコンの時計を合わせたりする方法や、録画予約のときに注意していただきたいことについて説明しています。

予約までの時間を省電力状態にするときは、省電力状態からの復帰時に、パスワードの入力画面を表示しないようにしておく必要があります。

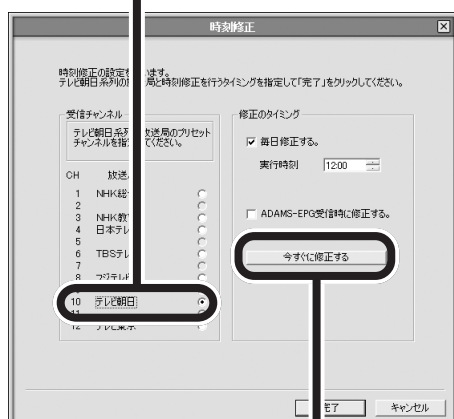
パソコンの時計を合わせる

テレビの録画予約をするときに、録画時間がずれないように、パソコンの時計を合わせます。

「設定ウィンドウ」が表示される

チェック!!

「時刻修正」を使うときは、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでおこなってください。制限付きユーザーアカウントでは利用できません。

5 ADAMS 放送がおこなわれているチャンネルを選ぶ

6 「今すぐに修正する」をクリックする
受信中の画面になります。

受信が成功すると、この画面が表示される

7 「完了」をクリックする
ウィンドウが閉じます。

8 「時刻修正」の「完了」をクリックする

9 「設定ウィンドウ」の「OK」をクリックする

各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下のとおりです(2005年1月現在)。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ~テレ	テレビ朝日

ADAMS放送をおこなっていない放送局が選ばれていたなどの理由で受信できない場合は、受信を開始してから約70秒後に「時刻信号が受信できませんでした」と表示されます。

予約するときの注意

- 予約をおこなう場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。ご購入時の状態では 20 分に設定されています。
- SmartVision が起動された状態で予約録画を行う場合、番組の録画は開始時刻より若干遅れて録画が開始される場合があります。
- 番組開始時間ちょうどに予約録画を開始したい場合は、「設定」の「予約」欄で録画開始時刻を微調整してください。
- 予約は 128 件までおこなえます。(番組表受信予約・おまかせ録画を含む)
- 録画予約したとき、すでに同じ時間帯の別の番組が予約されている場合や番組表の受信時刻と重なっている場合は、「予約設定」の画面が表示されます。前の録画予約をキャンセルして予約するときは、「予約登録」をクリックしてください。
- 番組表や番組検索画面でプリセットチャンネルとして、設定されていない放送局を選んだ場合、外部入力の予約になります。
- 放送時間が連続した複数の番組を予約録画する場合、次のようになります。

  録画終了時：次の番組の録画開始処理のため、番組終了時刻より若干早めに録画が終了します。

  同じチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の 5 秒前に終了します。異なるチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の 15 秒前に終了します。
- BS/ 地上デジタル TV モデルをお使いの場合、SmartVision DG や SmartVision BS の視聴予約と SmartVision の視聴予約をする場合は、すでに予約済みの番組の開始3分前から終了3分後までの時間帯に重なる番組は予約できません。
- 予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の8分前を過ぎると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

新しく録画しようとした番組とシークレット予約が重複した場合は、「他ユーザーのシークレット予約と重複しています。」と表示され、予約できません。

番組を予約する

番組の視聴や録画予約をすると、予約時間にSmartVisionが起動して、自動的に録画や視聴が始まります。

おてがる予約（番組表を使って予約する）

受信した番組表を使って、番組の録画を予約してみましょう。

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 （番組表）をクリックする

番組表が表示される

番組を予約するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。

3 日付をクリックして、予約したい日の番組を表示する

4 スクロールバーを上下左右にドラッグして、予約したい番組を表示する

5 予約したい番組をクリックする

「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

6 予約 をクリックする

「予約設定」画面が表示される

予約は、現在の時刻から３分以上後の番組が対象です。

番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

これで番組の予約ができました。

参照

- 画質について→PART3の「録画について」（p.38）
- ぴったり録画について→「ぴったり録画で録画する（サイズを決めて録画する）」（p.77）

をクリックすると、テレビ画面に戻ります。

チェック!!

録画した番組の保存先に「DVD」を選んだ場合、予約録画開始時に予想録画サイズ分の空き容量がDVD-RAMにないときなどは、ハードディスクに保存（代理録画）されます。
代理録画は、設定ウィンドウの「録画/再生/予約」-「DVD直接録画」で設定を変更できます。

●省電力状態にする

予約録画・予約視聴をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを自動的に省電力状態にできます。予約した時間になると、自動的にパソコンが復帰し、録画を始めます。

1 （設定）をクリックする

2 設定ウィンドウの「録画/再生/予約」アイコンをクリックし、「予約」タブをクリックする

3 電源設定を選んで にする

4 「OK」をクリックする

これで、予約録画・予約視聴終了後に、パソコンは自動的に省電力状態または電源オフの状態になります（「何もしない。」を選んだ場合は、電源の状態は変わりません）。

パソコンを複数ユーザーで使っているときや、パソコンにパスワードを設定しているときは、シングルユーザーでパスワードを設定しないでパソコンを使っているときと、録画予約後に設定できるパソコンの電源状態は異なります。

	パソコンの電源状態		
	スタンバイ状態	休止状態	電源オフ
シングルユーザー パスワードあり	○	○	×
シングルユーザー パスワードなし	○	○	○
複数ユーザー パスワードあり	○	○	×
複数ユーザー パスワードなし	○	○	×

チェック!!

パソコンが省電力状態になると、消費電力が低く抑えられます。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

参照

予約録画/予約視聴の設定について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「予約」

チェック!!

ご購入時の状態では、「電源を切る。」になっています。複数ユーザーやシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、電源オフの状態から予約を実行できません。「電源を切る。」以外の設定にしてください。

チェック!!

インスタント機能のあるモデル（VALUESTAR S、VALUESTAR SR、LaVie L、LaVie T、LaVie TW）では、録画予約をおこなった後、電源の状態がスタンバイ状態または休止状態になるように設定していると、その間インスタント機能で起動することができません。

ひんぱんに録画する場合（週10時間以上）は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週１回程度は、ディスク デフラグ（「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システム ツール」-「ディスク デフラグ」）を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスク デフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときにおこなってください。

●予約を実行する

予約の開始時刻が近づき、予約開始５分前になると、次の画面が表示されます。

また、通知領域のが次のように交互に表示され、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせます。

５分前　　　　　　　　　１分前

パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。
このときログオンユーザーを切り替えたりすると、予約が実行できなくなりますのでご注意ください。
録画中は、が次のように交互に表示されます。

● NIGHT MODE ボタンを使う（VALUESTAR S、VALUESTAR SR）

NIGHT MODE ボタンを ON にすると、深夜番組などを予約録画する場合でも、ディスプレイやサウンドをオフにした状態で録画可能となり就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中から NIGHT MODE に切り替えることも可能です。
本体前面の NIGHT MODE ボタンを押すと、NIGHT MODE となり、ボタン中央のランプが青色に点灯します。

参照

ディスク デフラグについて→「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」

チェック!!

設定ウィンドウの「録画/再生/予約」アイコンをクリックして表示される画面で、「予約開始前のメッセージ表示」の「表示する」をにすると、この画面は表示されなくなります。

通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「予約キャンセル」をクリックして、予約をキャンセルできます。

番組表を使わないで予約する

録画予約したい時刻までに番組表が受信できないなど、番組表を使った予約ができないときは、手動で予約できます。

をクリックすると、テレビ画面に戻ります。

これで予約ができました。

番組を検索して予約する

番組表のデータから出演者などのキーワードを入力して番組を検索して予約ができます。

通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。

チェック!!

番組表のデータがない場合、番組を検索できません。

参照

番組表の受信の設定について→このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」(p.58)

1 （番組表）をクリックする

番組表が表示される

2 検 索（検索）をクリックする

次の画面が表示される

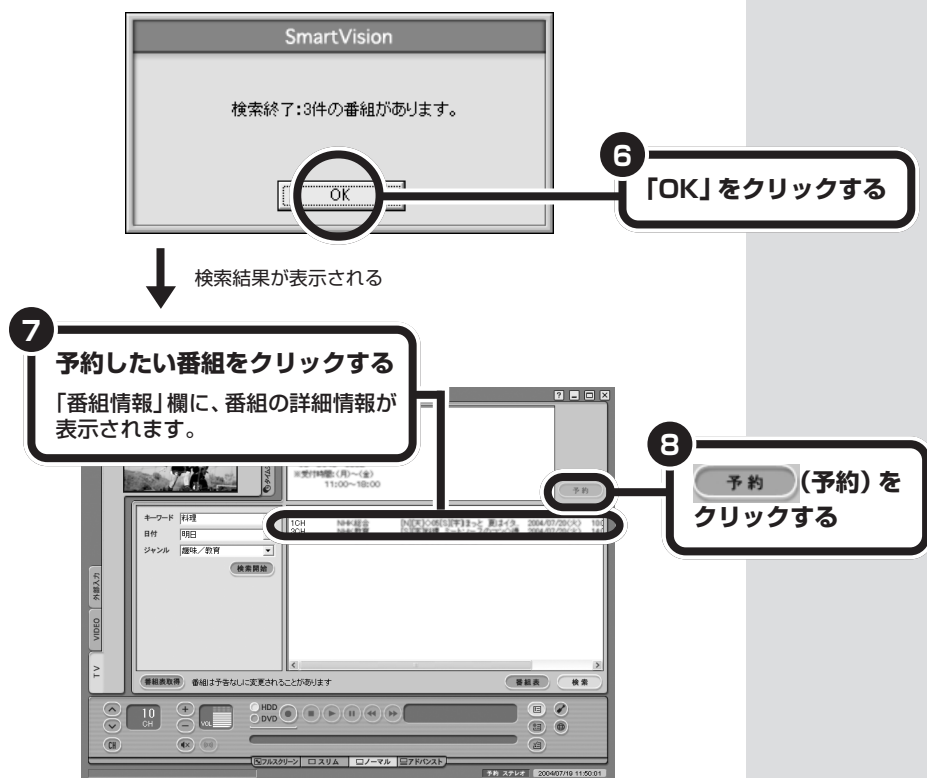
3 キーワードを入力する

キーワードには、出演者名や番組タイトルなどを入力してください。

チェック!!

複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します（「料理　魚」など）。設定したキーワードすべてを含む番組が検索されます。

4 検索する日付の範囲と検索する番組のジャンルを選ぶ

5 検索開始（検索開始）をクリックする

次の画面が表示される

「予約設定」画面が表示されます。この後の手順は、「おてがる予約（番組表を使って予約する）」の手順7以降（p.69）をおこなって番組を予約してください。

予約の確認や変更をする

これで予約の変更ができました。

通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「予約＆結果リスト拡大表示」をクリックしても表示できます。

チェック!!

実行中の予約録画を中断する場合は、通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「録画終了」をクリックしてください。

チェック!!

取消 をクリックすると、予約を取り消せます。

予約実行中に終了時間を変更したい場合も、この画面で設定します。

をクリックすると、テレビ画面に戻ります。

予約した録画が成功したか確認する

1 （予約＆結果リスト）をクリックする

2 「結果リスト」タブをクリックする

結果一覧が表示される

3 予約結果を確認する

結果一覧の記号の意味は次の通りです。

○成功 ：録画に成功したことを意味します

△成功 ：録画には成功したが代理録画になった、またはぴったり録画で、指定したサイズにならなかったことを意味します

●失敗 ：録画に失敗したことを意味します

通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「予約＆結果リスト拡大表示」をクリックしても表示できます。

ぴったり録画で録画する（サイズを決めて録画する）

予約録画とおまかせ録画では、指定したファイルサイズで番組を録画できます。「映画を 1 枚の DVD に保存したい」など DVD に直接保存するときに便利です。

参照
おまかせ録画について→「おまかせ録画機能で録画する」（p.80）

ファイルサイズを決めて録画する

1 SmartVision を起動する（p.24）

2 （番組表）をクリックする

番組表が表示される

3 予約したい番組を選んで、（予約）をクリックする

「予約設定」画面が表示される

参照
予約方法について→「おてがる予約（番組表を使って予約する）」（p.67）

4 DVD-RAMに直接保存するときは、▼をクリックして「DVD」を選ぶ

5 ▼をクリックして、録画するファイルサイズを選ぶ

6 設定が終わったら「OK」をクリックする

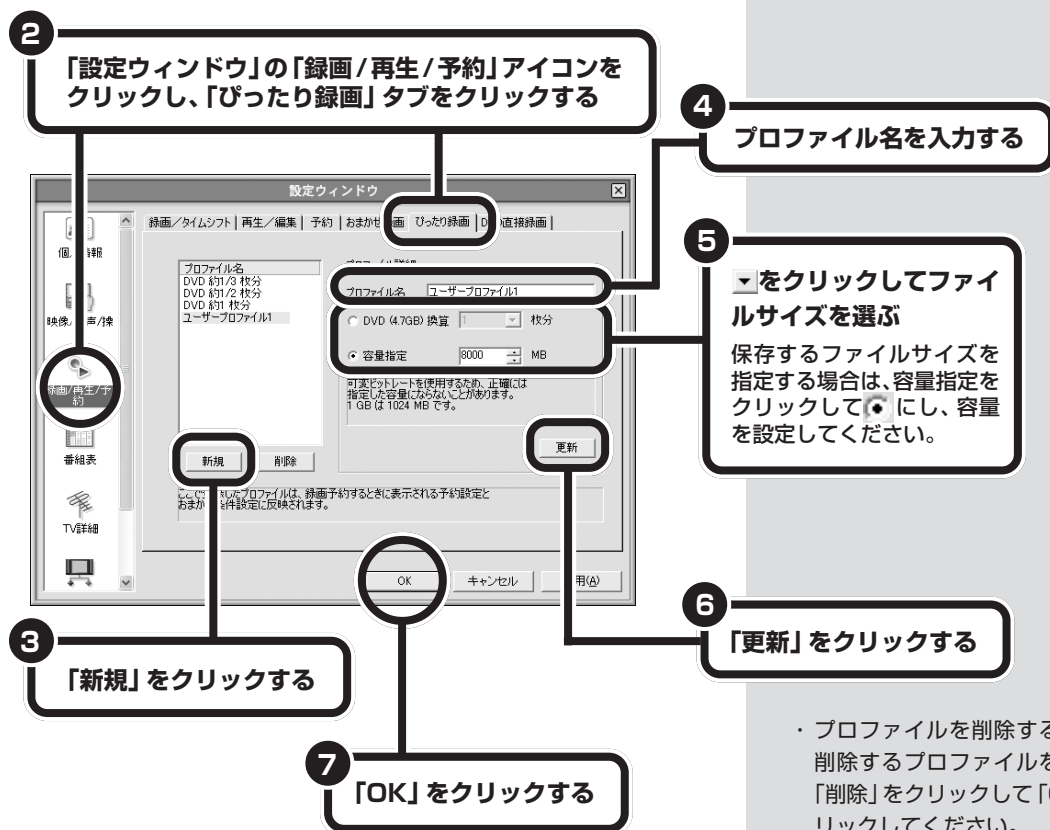
これで番組の予約ができました。

●プロファイルを追加する

自分で保存するファイルサイズを設定し、プロファイルに追加することができます。
登録できるプロファイルは10個までです。プロファイルの追加は、次の手順をおこなってください。

1 (設定)をクリックする

「設定ウィンドウ」が表示される

チェック!!
ぴったり録画で録画したファイルは、指定したファイルサイズに収まるように、約0～10%少ないサイズで保存されます。

これで、予約録画とおまかせ録画の画質一覧に作成したプロファイルが追加されます。

・プロファイルを削除するときは、削除するプロファイルを選んで、「削除」をクリックして「OK」をクリックしてください。
・プロファイルを変更するときは、変更するプロファイルを選んで、「プロファイル詳細」を修正した後、「更新」をクリックしてください。

チェック!!

予約番組で使用されていたり、おまかせ録画の条件として指定されているプロファイルを消すことはできません。

おまかせ録画機能で録画する

キーワードやジャンルなどをあらかじめ決めておくと、番組表の情報から条件にマッチした番組を録画することができる機能です。

参照

おまかせ録画機能について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

条件を登録する

おまかせ録画機能を使うには、あらかじめ条件を登録しておく必要があります。

参照

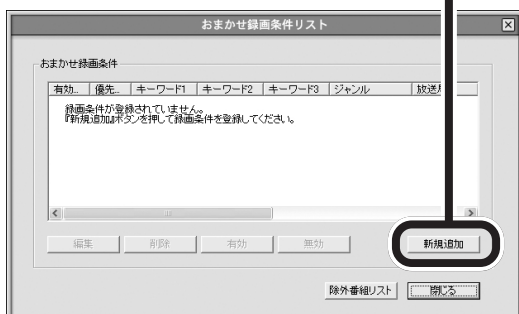
おまかせ録画で録画できないときは→PART6の「おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない」（p.131）

1 SmartVisionを起動する（p.24）

2 （予約＆結果リスト）をクリックする

3 「予約リスト」タブの「おまかせ」をクリックする

「おまかせ録画条件リスト」が表示される

4 「おまかせ録画条件リスト」で「新規追加」をクリックする

5 「条件入力」が表示されるので、選びたい条件を選び、クリックする

選びたい条件をクリックして、□を☑にします。

6 「検索」をクリックする

条件に合致した番組が番組リストに表示されるので、確認してください。

7 「OK」をクリックする

8 「閉じる」をクリックする

キーワードを入力するときに、1つのボックスに複数のキーワードを空白で区切って入力すると、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が検索されます。

番組リストを選びクリックして、次に「番組除外」をクリックするとその番組はおまかせ録画から除外されて、録画予約されません。また、「除外番組リスト」をクリックすると、おまかせ録画から除外されている番組のリストを見ることができます。

外出先から録画予約する

外出先で、録画を忘れたことに気がついた。急な用事で、番組の開始までに家に帰れない。そんなときに、携帯電話や外出先のパソコンからインターネットを通じてテレビ番組の録画予約ができます。

SmartVision TV録画予約サービスは、携帯電話やインターネットに接続できるパソコンから、テレビ番組の録画予約ができるサービスです。

次の３つの方法があります。

● BIGLOBE のサービスを利用する方法

次のようなかたに向いています。
- BIGLOBE 会員のかた
- i モード機能付きの携帯電話をお使いのかた
- 省電力でパソコンを使いたいかた
- 必要に応じてパソコンをインターネットに接続しているかた（常時接続していないかた）

この方法では、1 日数回、設定した時間にのみ予約が反映されます。

●ドット・ゲートサービスを利用する方法

次のようなかたに向いています。
- ドット・ゲートサービスを利用できる環境にあるかた

この方法では、いつでも予約を反映することができます。
ただし、パソコンをインターネットに常時接続しておく必要があります。

●reserMail を利用する方法（reserMail 添付モデル）

次のようなかたに向いています。
- i モード、Vodafone live!、EZwebのいずれかの機能付き携帯電話をお使いのかた

この方法では、設定した時間ごとに予約が反映されます。

チェック!!

録画予約の後にパソコンの電源を切るように設定にしている場合は、「SmartVision TV 録画予約サービス（BIGLOBE用）」や「SmartVision TV 録画予約サービス（ドット・ゲートサービス用）」、「reserMail」を使って外出先から番組を録画予約できないことがあります。

参照

「ドット・ゲートサービス」について
→「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」

SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE 用）

「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」は、iモードや外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約をおこなうサービスです。
「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」をご利用になる場合は、次のことに注意してください。

・モデムやLAN、ISDNターミナルアダプタを利用したインターネット接続環境が必要です。
・この機能を利用するには、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてから省電力状態にしてください。また、予約機能を利用するために、Windows のログオンパスワードの設定と SmartVision のパスワードの設定が必要です。
・BIGLOBE にアクセスするための電話料金とプロバイダ料金および、i モード携帯電話のパケット通信料はお客様のご負担となります。
・「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」を利用するには、あらかじめパソコンを省電力状態にしておく必要があります。

●申し込みと準備

BIGLOBE に入会する

「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」を利用するには、BIGLOBE に入会している必要があります。

サービスの申し込みをする

BIGLOBE へのサービスご利用申し込み（ユーザー登録）は、インターネットでおこないます（無料）。
「SmartVision TV録画予約サービス」のホームページ（http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/index.html）にアクセスし、説明をよくお読みになったうえで、お申し込みを済ませてください。

参照

Windows のログオンパスワードについて→PART1の「●Windowsのログオン時のパスワードを設定する」（p.10）

SmartVision のパスワードは、SmartVision の （設定）をクリックし、「設定ウィンドウ」の「個人情報」アイコンをクリックして表示される画面で、Windowsのログオンパスワードと同じパスワードを設定します。

チェック!!

BIGLOBE の法人会員のかたはご利用になれません。
また、すでに BIGLOBE 以外のインターネットプロバイダーとご契約されている場合は、月額基本料金無料の BIGLOBE「コンテンツコース」でご利用が可能です。

パソコンの設定をおこなう

パソコンが定期的に休止状態（または、スタンバイ状態）から復帰して、BIGLOBEのサーバと予約情報のやりとりをするように、パソコンを設定する必要があります。
また、テレビ番組表を使って録画予約をする場合は、自宅のパソコンにテレビ番組表を受信しておく必要があります。
設定は「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」の「TV録画予約クライアント設定」でおこないます。詳しくは、「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」をご覧ください。

準備完了

●毎回ご利用時

サービスを利用するには、パソコンを省電力状態にして外出します。

外出先で録画予約のページにアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先で「SmartVision TV録画予約 ユーザ認証」のページ(利用申し込み時に発行される専用のURLです）にアクセスします。あなたのアクセスキーを入力するとメインメニューが表示されます。録画予約はそこでおこないます。

パソコンが自動的にBIGLOBEのサーバにアクセスし、予約を確認する

「TV録画予約クライアント設定」で指定した時刻になると、自宅のパソコンが自動起動し、BIGLOBEのTV録画予約サーバにアクセスして録画予約情報をダウンロードします。
予約が入っていた場合、予約内容のとおりにパソコンが番組を録画します。

チェック!!

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント（BIGLOBE用）」は、ご購入時にはインストールされていません。「ソフトナビゲーター」で「TV録画予約（BIGLOBE用）」を選んでインストールしてください。

参照

「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」について→「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」-「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」

「TV録画予約クライアント設定」で設定した時刻に予約をチェックするため、設定した時刻より後に外出先から予約した番組は録画されません。
また、録画予約をしてもしなくてもパソコンからBIGLOBEにアクセスしますので、その分の電話料金やプロバイダ料金が別途かかります。

SmartVision TV録画予約サービス(ドット・ゲートサービス用)

「SmartVision TV録画予約サービス(ドット・ゲートサービス用)」は、携帯電話や外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約をおこなうサービスです。このサービスを利用すると、自宅のパソコンのSmartVisionを利用して、いつでも録画予約ができます。
「SmartVision TV録画予約サービス(ドット・ゲートサービス用)」をご利用になる場合は、次のことに注意してください。

- この機能を利用するために、Windowsのログオンパスワードの設定が必要です。
- ドット・ゲートサービスをご利用になれる環境が必要です。
  - コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてあること
  - インターネットへ常時接続していること
  - 常時パソコンの電源をオンにしておくこと

●準備

パソコンの設定をおこなう

お使いのパソコンをドット・ゲートサービスが利用できるように設定します。詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

●外出先から

ドット・ゲートサービスが利用できる状態にして外出します。

外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサービスを利用してアクセスする

i モード携帯電話やパソコンを使って、外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサービスを利用してアクセスします。「TV録画予約」を選んで、録画予約をおこないます。

パソコンが自動的に録画を開始する

予約した時間になったら、予約内容のとおりにパソコンが番組を録画します。

ドット・ゲートサービスについて詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

参照

「ドット・ゲートサービス設定ツール」について→「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」-「ドット・ゲートサービス」

チェック!!

複数のユーザーでパソコンをご利用の場合でも、ドット・ゲートサービスは一人のユーザーでしか利用できないため、一人分の予約設定しかできません。

reserMail（reserMail添付モデル）

reserMailは、iモードのTV番組ガイド「iテレビ」、Vodafone live!やEZwebのTV番組ガイド「アイラテ」、インターネットのテレビ番組ガイド「iTV」を使って、外出先から録画予約をするソフトです。
reserMailをご利用になるには、ユーザー登録が必要です。

チェック!!

携帯電話からの録画予約サービスは有料となります。

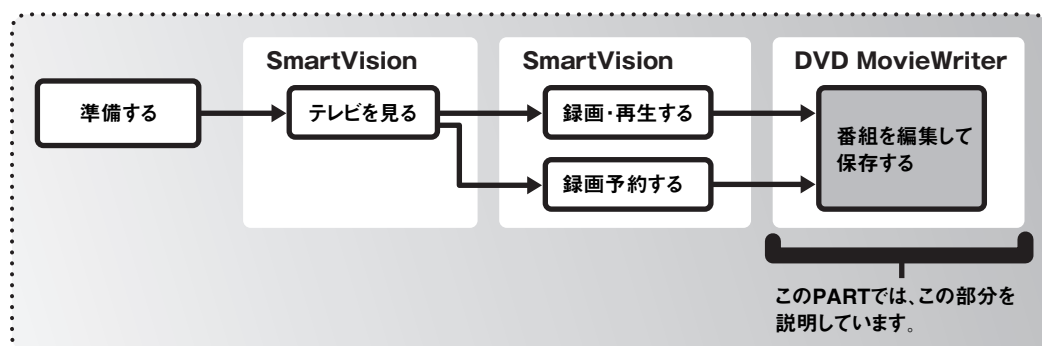
参照

reserMailについて→「スタート」-「すべてのプログラム」-「reserMail for NEC」-「reserMail 取扱説明書」

PART

5

映像を編集する

SmartVision で録画した映像は、いらない部分をカット編集したり、タイトルやメニューを作成して DVD に保存することができます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

録画した番組を編集してDVDにする

録画した番組をもとに、「DVD MovieWriter」で、いらない部分をカットしたり、メニュー画面をつけてDVD-Video、VideoCDを作成しましょう。

SmartVisionで録画した番組データからいらない部分をカットして、DVD-R/RW、DVD+RにDVD-Videoとして、CD-R/RWにVideoCDとして、またはDVD-RAMにDVD-VR形式として保存する方法を説明します。

チェック!!

- DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存できるのは、DVD-R/RW、DVD+R/RWへの書き込みに対応したドライブを搭載しているモデルの場合だけです。
- DVD+RWに保存する場合は、DVD+VR形式となります。
- Video CDを作成したい場合は、「Video CD」画質で録画した番組をお使いください。
- 「高画質」「標準画質」「長時間」「超長時間」以外の画質で録画した番組はDVD MovieWriterでDVD形式のデータに変換するときに時間がかかる場合があります。

DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RWに保存する

●映像を取り込む

1 **SmartVisionを起動する(p.24)**

2 **(VIDEOリスト)をクリックする**

録画した番組の一覧が表示されます。

通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「VIDEOリスト拡大表示」をクリックしてもVIDEOリストを表示できます。

3 **保存したい番組をクリックする**

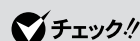
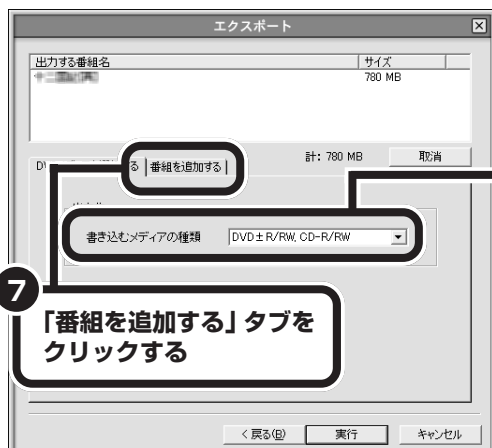
4 **エクスポート をクリックする**

「エクスポート」画面が表示される

チェック!!

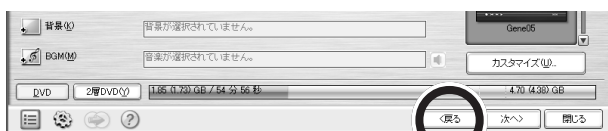
保存したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら番組をクリックして選ぶことができます。

「DVD直接書き込み」をクリックすると、タイトルメニュー作成などを省いて、簡単にDVD-RAM、DVD-R/RW、DVD+R/RW に保存することができます

チェック!!

DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW に保存するときは、「DVD ± R/RW,CD-R/RW」を選んでください。DVD-RAM に保存するときは、「DVD-RAM」を選んでください。

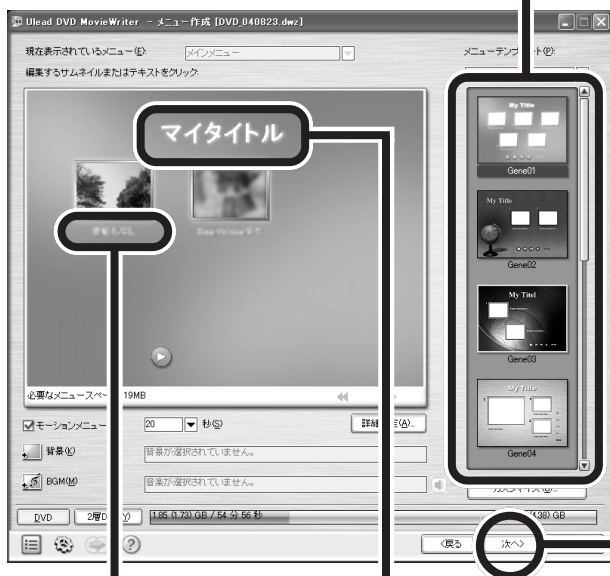
●映像を編集する

映像のいらない部分をカットしたり、映像に効果や文字、音声を追加できます。また、完成したDVDやCDを再生したときに表示されるメニュー画面を作成します。
ここでは、やりたいことによって、始める手順が異なります。

- **いらない部分のカットなど、編集をする場合→手順1に進む**
- **編集をおこなわず、メニューを作ってDVDやCDを作成する場合→手順6に進む**

参照

DVD MovieWriterについて詳しくは、画面下の?をクリックして表示される「ユーザーマニュアル」をご覧ください。

6 ここから、メニュー画面のデザインを選ぶ

9 メニューの作成が完了したら、「次へ」をクリックする
「プレビュー」画面が表示されます。

7 ここをクリックして、映像の名前を変える

8 ここをクリックして、作成するDVDのタイトルを変える

チェック!!

・「メニューテンプレート」の下の▼をクリックしてジャンルを選ぶと、さらにたくさんのデザインから選べます。
・「戻る」をクリックすると、手順2の画面に戻ります。

直したいところがあるときは、「戻る」をクリックすると手順6の画面に戻ります

10 ▶ をクリックして作成するDVDのチェックをして、問題がなければ「次へ」をクリックする
「出力」画面が表示されます。

●DVD-Video や VideoCD として保存する

完成したデータを DVD や CD に保存します。

1 何も記録されていないDVD-R/RW、DVD+R/RW（または CD-R/RW）メディアを CD/DVD ドライブに入れる

2 「DVDビデオ形式（DVD-R/-RW/+R）」になっていることを確認する
DVD+RWに保存する場合は、「DVDビデオ +VR 形式（+RW）」を選びます。

4 「書き込み開始」をクリックする
作成が始まります。

3 2層書き込みに対応したDVD+Rに保存するときは、「2 層 DVD」をクリックする

あとは画面の指示にしたがってDVD-VideoやVideoCDを作成してください。

チェック!!

- 書き込みに失敗した CD-R や DVD-R、DVD+R は、再生できなくなります。書き損じによる CD-R や DVD-R、DVD+R の補償はできませんのでご注意ください。
- DVD-Video を作成するときに、「必要な / 使用可能な DVD（VideoCD）の容量」が 4.7GB を超えているときは、「1 枚の DVD に収める」をクリックすると、1 枚の DVD に保存できるように映像が自動変換されます。その後、「書き込み開始」をクリックしてください。
  ただし、映像の画質や時間によっては、1 枚の DVD に収めることができない場合があります。
  その場合は、書き込む番組数を少なくするか、編集機能で映像をカットして複数の DVD に分けて作成するようにしてください。

●DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

・DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存する場合、映像の画質(ビットレート)等により、記録できる時間は異なります。

・デジタルビデオカメラからキャプチャ時に、オーディオの設定でLPCM(リニアPCM)を選んだ場合、もとのMPEG2ファイルよりも約20%程度容量が増加することがあります。

・DVD-R/RW、DVD+R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。

・DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存したビデオは、家庭用DVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤ、DVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤの状態により再生できないことがあります。

・ディスクの状態(記録メディアの特性、キズ、汚れなど)や、ドライブの状態等によっては、正常に書き込みできない場合があります。

●DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときの注意

DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときは、次のことを注意してください。

・CD-R/RWに保存できる映像は、約60分程度です。保存する内容により、記録できる時間は短くなることがあります。

・CD-R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。

・CD-R/RWに保存した場合、一部の家庭用DVD/VideoCDプレーヤでは再生できないことがあります。

●アナログキャプチャ時の注意(外部機器からの映像取り込み)

DVD MovieWriterでアナログキャプチャをおこなった場合、キャプチャ終了後も外部入力の音声が流れつづける場合があります。その場合は、外部機器の停止ボタンを押すことで音声は停止します。

チェック!!

・DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存できるのは、DVD-R/RW、DVD+R/RWへの書き込みに対応したドライブを搭載しているモデルの場合だけです。

・作成したDVD-Video、VideoCDを再生する前にDVD MovieWriterを終了してください。

DVD-RAMに保存する

●**映像を取り込む**

1 **「DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RWに保存する」（p.88）の手順1〜8をおこなう**

2 **DVD-RAMをCD/DVDドライブにセットし、「実行」をクリックする**

「DVD MovieWriter」の「メディアを追加／編集」画面が表示される

●**いらないシーンをカットする**

1 **ムービーを再生して、削除したい部分で（一時停止）をクリックする**

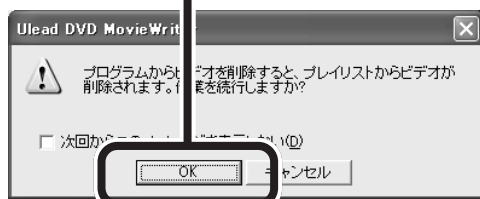
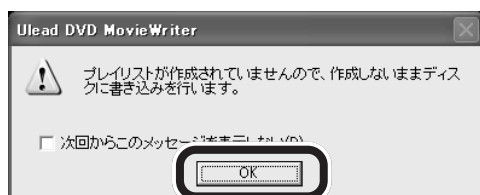
2 **（プログラムを分割）をクリックして、削除したいムービーを作成する**

3 **削除するムービーを選んで、（プログラムを削除）をクリックする**

次の画面が表示される

チェック!!

・DVD-RAMには、DVD-VR形式で保存されます。再生するプレーヤによっては、再生できないことがあります。

・録画に使うDVD-RAMはUDF形式（UDF2.0）でフォーマットする必要があります。
SmartVisionの設定ウィンドウの「録画／再生／予約」-「DVD直接録画」の「ディスクのフォーマット」欄で「フォーマット」をクリックし、フォーマットしたDVD-RAMを使用してください。

これで削除したい部分のムービーが削除できます。

次の画面が表示される

「プレビューと終了」画面が表示される

● **DVD-VR形式で保存する**

1 「書き込み開始」をクリックする
書き込みが始まります。

書き込みが完了すると次の画面が表示される

2 「OK」をクリックする

「DVD MovieWriter」が終了します。
これでDVD-RAMへの書き込みは完了しました。

SmartVisionで簡易編集する

SmartVisionには、再生中の番組のシーンを切り抜いたり、つなげたりする簡易編集機能があります。編集したデータは、ひとつの番組として保存できます。
録画した番組を再生すると、アドバンストモード画面に「簡易編集」タブが表示されます。

チェック!!

複数の番組にまたがった編集はできません。

参照

簡易編集機能について→「SmartVisionオンラインヘルプ」-「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで編集しよう！」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

DVDを再生する

「DVD MovieWriter」で作成したDVD-Video、DVD-RAMは「MediaGarage」や「WinDVD」で再生できます。

VideoCDは、「WinDVD」で再生できます。

保存したDVD-Video、DVD-RAMは、「MediaGarage」や「WinDVD」で再生できます。ここでは「MediaGarage」での視聴方法について説明します。

参照
「MediaGarage」について→『MediaGarage操作ガイド』またはMediaGarageのオンラインヘルプ

1 「ソフトナビゲーター」の「映像」-「DVDを楽しむ」-「DVDを観る」-「MediaGarage」アイコン-「起動する」をクリックする

「MediaGarage」のメインメニューが表示されます。

2 「DVD/CD」をクリックする

「ディスクを挿入してください。」と表示されます。

3 保存したディスクをCD/DVDドライブにセットする

参照
メディアのセットのしかたについて→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

自動的に、DVDの再生が始まります。

ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

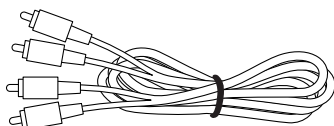
SmartVisionでは、ビデオデッキやアナログビデオカメラと接続してその映像をハードディスクに録画できます。

チェック!!

・コピー防止信号が含まれている映像を録画したり、静止画をキャプチャすることはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的にライブモードに切り替わります。
・お使いのパソコンでは、SmartVisionの映像を外部の機器に録画することはできません。

用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブルと市販の音声用ケーブルを使って接続します。

S映像用ケーブル
(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル
(ピンプラグX2・ピンプラグX2)

接続する

このパソコンとビデオデッキなどを接続します。
本体の形によって、接続場所が違います。次ページからの説明を見て、お使いのパソコンのシリーズ名を確認してから接続してください。

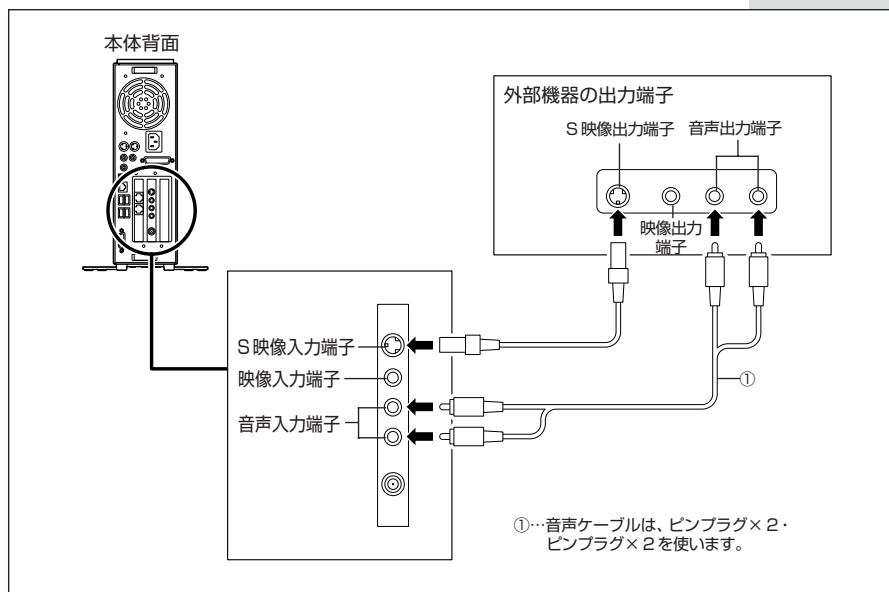
チェック!!

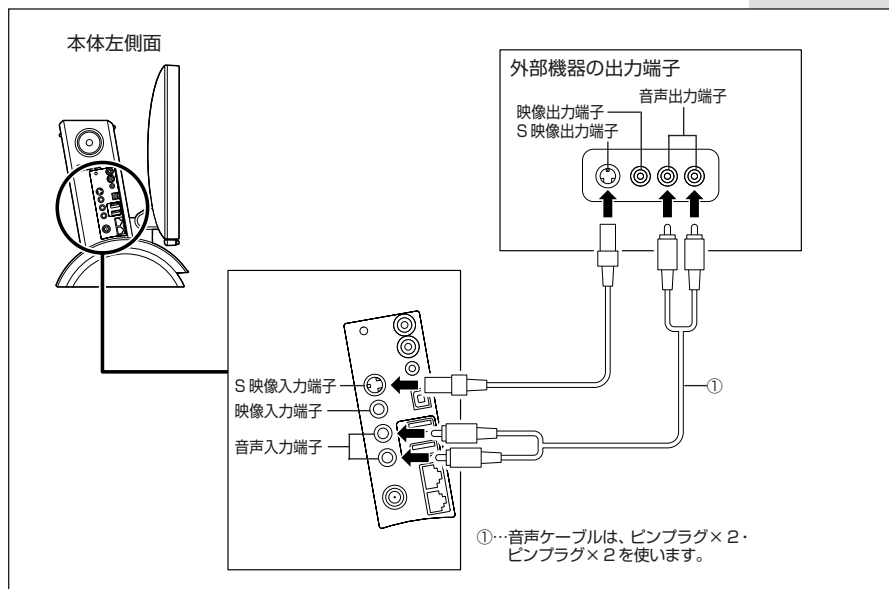
・外部接続機器の音声出力から音声を取り込むときは、外部接続機器の「出力レベル」を確認して接続してください。
・パソコンのライン入力レベルより外部接続機器の音声レベルが大きいときは、接続方法を外部接続機器メーカにお問い合わせください。また、接続するオーディオケーブルに「抵抗入り」ケーブルを使用すると、パソコンに音声が出力されないことがあります。この場合は、「抵抗なし」のケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されるようになることがあります。
※「抵抗なし」、「抵抗入り」のケーブルについて詳しくは、お近くの販売店にご相談ください。

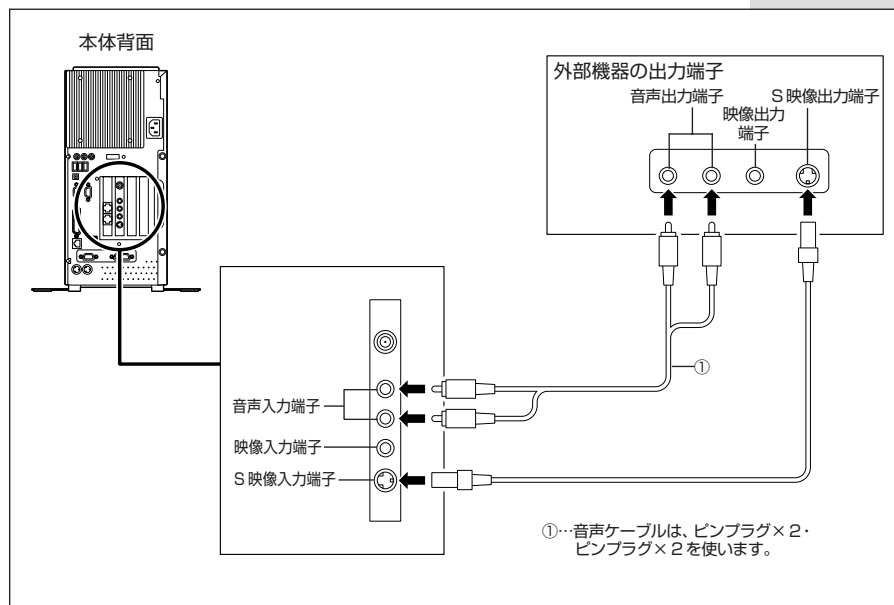
●本体とビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続して、機器の映像をSmartVisionで録画します。

VALUESTAR Lの場合

VALUESTAR Sシリーズの場合

チェック!!

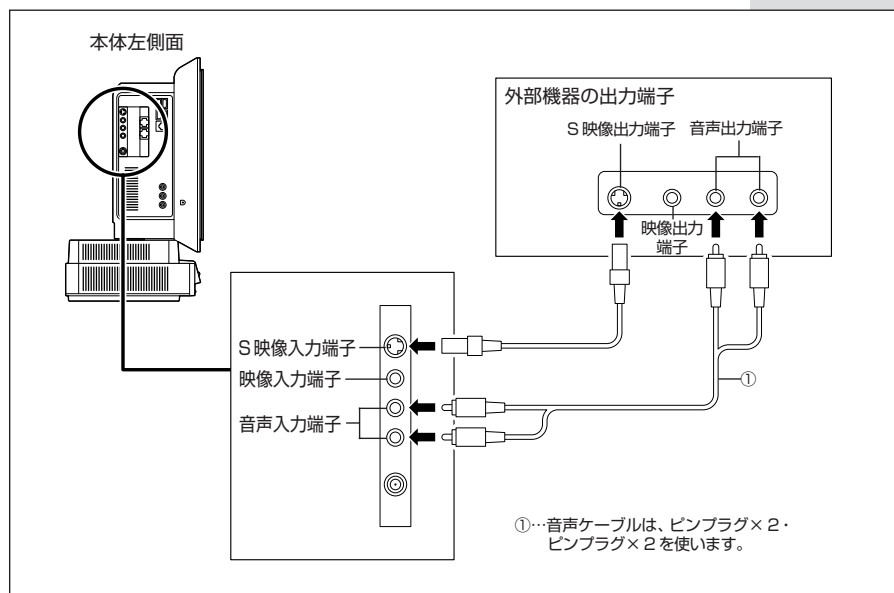
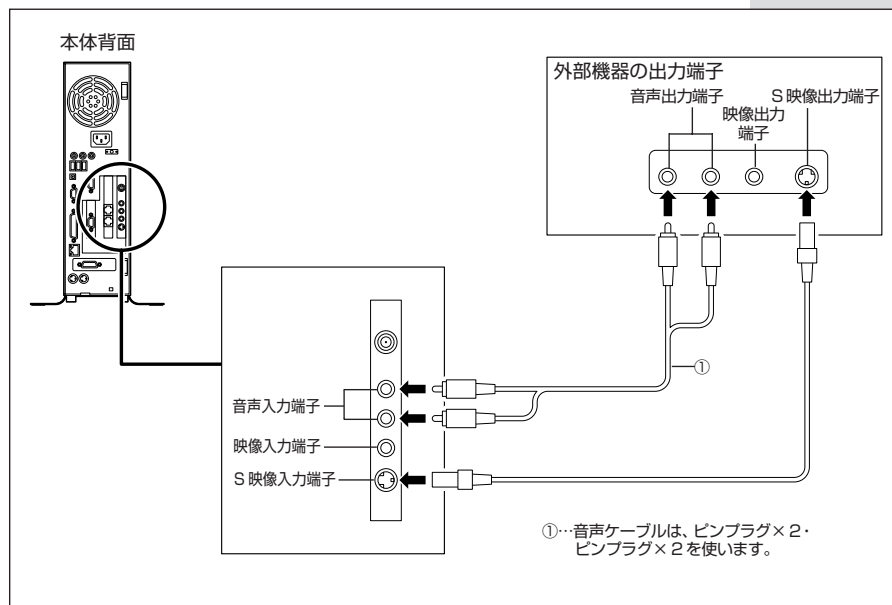
モデルにより、ボードや端子の位置は異なります。間違わないように接続してください。

VALUESTAR TX、TZ シリーズの場合

VALUESTAR SR シリーズの場合

チェック!!

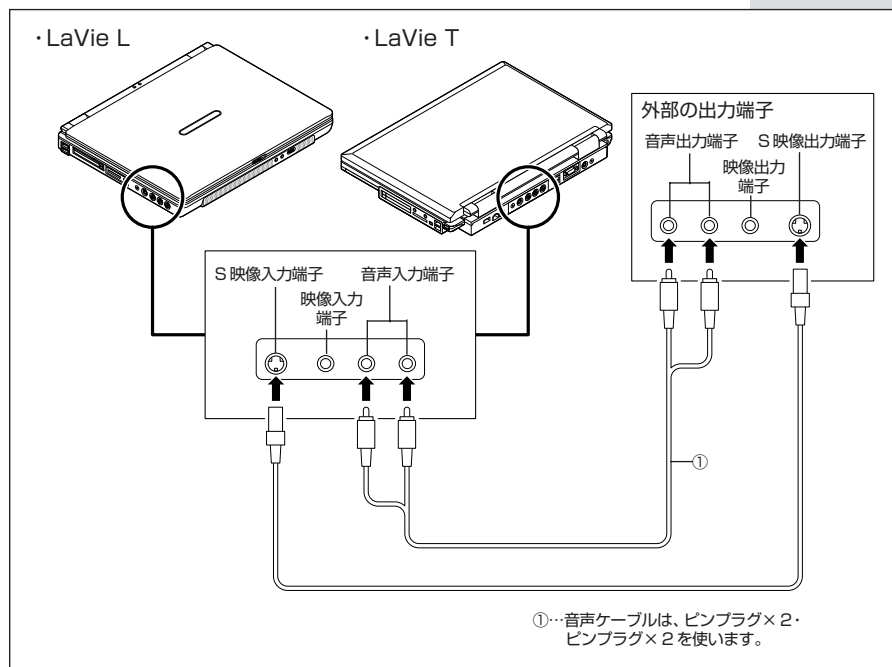
モデルにより、ボードや端子の位置は異なります。間違わないように接続してください。

S 映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部機器の映像出力端子に映像ケーブルを接続して使うこともできます。
本体前面のS 映像入力端子と音声入力端子にケーブルを接続して使うこともできます。

参照

「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

VALUESTAR G シリーズ（タイプ C）の場合

LaVie L、LaVie T、TW シリーズの場合
パソコンの入力端子は LaVie L の場合はパソコンの左側面にあります。
LaVie T、LaVie TW の場合はパソコンの背面にあります。

・LaVie L
・LaVie T
外部の出力端子
音声出力端子
S 映像出力端子
映像出力
端子
S 映像入力端子
音声入力端子
映像入力
端子
①
①…音声ケーブルは、ピンプラグ× 2・
ピンプラグ× 2 を使います。

S 映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部機器の映像出力端子に映像ケーブルを接続して使うこともできます。

LaVie L、LaVie T、LaVie TW では、背面の S 映像出力端子（Ⓢ）に S 映像入力端子付きのテレビを接続できます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「表示機能」-「外部ディスプレイと連携させる」をご覧ください。

ビデオの映像をSmartVisionで録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像をSmartVisionで録画する方法を説明します。

1 SmartVisionを起動する(p.24)

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。設定ウィンドウの「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブで画質を選んでください。

3 ビデオデッキで、ビデオを再生する
ビデオの映像がパソコンに表示されます。

5 録画を終了するときは (停止)をクリックする

チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、録画やタイムシフトを中止し、自動的にライブモードに切り替わります。

参照

編集目的で録画するときの画質について→PART3の「録画について」(p.38)

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、「PART3 録画と再生をする」をご覧ください。

ここで録画したデータは、SmartVisionで録画した番組と同じように編集できます。録画したデータの編集方法については、このPARTの「録画した番組を編集してDVDにする」(p.88)で確認してください。

録画したテレビ番組を携帯電話で見る

録画したテレビ番組をSD-Video形式に変換して、携帯電話で見ることができます。

チェック!!

この方法でテレビ番組を見ることができるのは、SD-Video形式に対応した携帯電話のみです。詳しくは、携帯電話のマニュアルをご覧ください。

SmartVisionで録画した番組データをSD-Video形式でSDメモリーカードに保存して、携帯電話で見る方法を説明しています。

録画した番組をSDメモリーカードに保存する

1 **SmartVisionを起動する（p.24）**

2 **(VIDEOリスト) をクリックする**

録画した番組の一覧が表示されます。

3 **保存したい番組をクリックする**

4 **エクスポート をクリックする**

「エクスポート」画面が表示される

5 「MPEG ファイルの分割 / 変換」をクリックする

6 SD メモリーカードをトリプルメモリースロットにセットし、「更新」をクリックする

7 出力先が「SDカード」になっていることを確認する

8 出力モードが「SD-Video」になっていることを確認する

9 「詳細設定」をクリックする

↓ 「SD-Video フォーマット変換拡張設定」画面が表示される

チェック!!

SD メモリーカードをセットしたときに「Windowsが実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

参照

SD メモリーカードのセットのしかたについて→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

番組を追加するときは、「番組を追加する」タブをクリックして、追加する番組を選び「追加」をクリックしてください。

10 ▼をクリックして再生する機器を選ぶ

11 出力画質を選ぶ
ファイルサイズが大きいときは、「高圧縮」にしてファイルサイズを小さくします。

12 「OK」をクリックする

この画面が閉じる

13 「実行」をクリックする

「SD-VideoWriter」が起動し、コンバートが始まります。
コンバートが終了するとSDメモリーカードにデータを書き込みます。

14 書き込みが終了したら、「閉じる」をクリックし、SDメモリーカードを取り出す

これで、SDメモリーカードへの保存が完了しました。

携帯電話で番組を見る

1 携帯電話にSDメモリーカードをセットする

2 番組データを選んで再生する

参照
SDメモリーカードのセットのしかたについて→携帯電話のマニュアル

映像をホームネットワークで配信する

(VALUESTAR TX、TZシリーズ)

ホームネットワークに接続したパソコンに映像を配信してみましょう。

ホームネットワークに接続した他のパソコン(映像を受けとるクライアントパソコン)から、このパソコン(映像を配信するサーバパソコン)で録画した番組を視聴したり、クライアントパソコンからこのサーバパソコンに録画予約ができるようになります。また、サーバパソコンで受信している番組を視聴することもできます。

「SmartVision/PLAYER」を利用できるパソコン

「SmartVision/PLAYER」は、次の条件のPC-98 NXシリーズで動作します。

必須環境

対象OS		Windows XP Professional	
		Windows XP Home Edition	
		Windows 2000 Professional (Service Pack 3以降)	
CPUと利用可能な画質	Pentium4、Pentium Ⅲ	1GHz 以上	高画質
		733MHz 以上	標準画質
		500MHz 以上	MPEG4
	Celeron	1.2GHz 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
		633MHz 以上	MPEG4
	Athlon	1200+ 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
		700MHz 以上	MPEG4
	Duron	1200Hz 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
		700MHz 以上	MPEG4
メモリ		128Mバイト以上(Windows XPは256Mバイト以上推奨)	
DirectX		DirectX8.1 以上実装環境	
VRAM容量		8Mバイト以上(16Mバイト以上推奨)	
LAN環境 ※ ※MPEG2 配信は、100Mbps 以上の環境を推奨		LAN(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)	
		ワイヤレスLANで直接接続(IEEE802.11aでのインフラストラクチャ接続または、アドホック接続・IEEE802.11 bでのアドホック接続・IEEE802.11 gでのインフラストラクチャ接続)	

チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を配信することはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的に、配信を停止します。

チェック!!

サーバパソコンは、VALUESTAR TX、TZシリーズのみです。その他のシリーズでは、サーバパソコンとしてご利用できません。
2003年5月以降のVALUESTAR TVモデルにインストールされているSmartVisionには、ネットワーク機能が付いています。
SmartVision/PLAYERをインストールする必要はありません。

チェック!!

すでにSmartVision/PLAYERがインストールされている場合は、そのSmartVision/PLAYERを一度、アンインストールして、新たに本製品に添付されているSmartVision/PLAYERをインストールしてください。

サーバパソコンから映像を配信するときは、10BASE-T規格やIEEE802.11b規格などの低速な環境では、画像が乱れたり、高画質では視聴できないなどの障害が発生することがあるので、100BASE-TX規格や1000BASE-T規格、またはIEEE802.11a規格などの高速なLAN環境で利用することをおすすめします。

クライアントパソコンでテレビを楽しむまでの流れ

1 **ホームネットワークを使って、サーバパソコンからクライアントパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールする**

2 **サーバパソコンで、「SmartVision/SERVER」やファイアウォールの設定をする**

3 **クライアントパソコンで、「SmartVision/PLAYER」やファイアウォールの設定をする**

チェック!!

「クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定をする」の部分は、2003年5月以降のTVモデルの場合、「「SmartVision」の設定をする」に置き替えてお読みください。

「SmartVision/PLAYER」をインストールする

ホームネットワークを使って、サーバパソコンからクライアントパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールします。

サーバパソコンでの操作になります

参照

LANの設定について→「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「LAN」

1 **サーバパソコンで、「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックする**

2 **「名前」欄に「C:¥APSETUP」とキーボードを使って入力する**

3 **「OK」をクリックする**

4 **「SVISION」フォルダを右クリックして、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックする。**

5 **「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックして☑にして、「OK」をクリックする**

6 **「MGSERVER」フォルダも同様の手順で共有する**

「MGSERVER」フォルダを共有するときは、手順５で「ネットワーク ユーザーによるファイルの変更を許可する」も☑にしてください。

クライアントパソコンでの操作になります

1 **ネットワークに接続されているクライアントパソコンで「svision-×××（×××には、サーバパソコンのコンピュータ名が表示されます）」フォルダをダブルクリックして開く**

「svision-×××（×××には、サーバパソコンのコンピュータ名が表示されます）」は、「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」をクリックして、画面左に表示される「関連項目」欄から「マイネットワーク」をクリックすると画面に表示されます。

2 **「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックする**

「SmartVision/PLAYER」のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールをしてください。

チェック!!

画面に「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」と表示された場合は、この文字をクリックして、表示される画面で「ファイル共有を有効にする」を◉にして「OK」をクリックしてください。

チェック!!

Windows XP Home Edition、Windows XP Professional や Windows 2000 Professional が インストールされているパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールするためには、あらかじめコンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログインしている必要があります。制限付きユーザーアカウントでは、インストールできません。

チェック!!

「SmartVision/PLAYER」のインストール直後に、「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」などのセキュリティソフトが、「SmartVision/PLAYER」を検出する場合があります。その場合は、アクセスを承認してください。

サーババソコンの「SmartVision/SERVER」の設定をする

「SmartVision/PLAYER」のインストールが終了したら、続いてサーバパソコンの「SmartVision/SERVER」の設定をおこないます。

サーバパソコンでの作業になります

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision-SERVER」をクリックする**

「SmartVision/SERVER」画面が表示されます。画面が表示されない場合は、通知領域に表示されるをダブルクリックしてください。

2 **「サーバ名」欄にサーバ名を、「パスワード」欄にパスワードをそれぞれ入力して、ネットワークTV配信の設定と配信先から終了要求されたときの動作を選んで、「OK」をクリックする**

チェック!!

複数のネットワークを設定している場合は、ネットワークアダプタ選択ツールで使用するネットワークを指定してください。

チェック!!

特に必要がないかぎりポート番号は変更しないでください。

サーバパソコンのファイアウォールの設定を変更する

「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」を利用している場合は、次の手順で設定を変更します。

サーバパソコンでの作業になります

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「McAfee」-「McAfee Personal Firewall Plus」をクリックする**

「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」が起動します。

2 「ユーティリティ」タブをクリックする

3 「信用IPアドレスと禁止IPアドレス」をクリックする

「信用IPアドレスと禁止IPアドレス」画面が表示されます。

4 「マイローカル エリアネットワーク（LAN）」をクリックして☑にする

5 「OK」をクリックする

6 「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」を終了する

クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定をする

「SmartVision/SERVER」の設定が終了したら、クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定をおこないます。

クライアントパソコンでの操作になります

1 ホームネットワークに接続しているクライアントパソコンで、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision-PLAYER」をクリックする

2 （設定）をクリックする
「設定ウィンドウ」が表示されます。

3 （ネットワークTV）をクリックする

4 「通信レート」欄から、配信方法と画質を選ぶ

5 「詳細設定」欄の「パスワード」欄に、パスワードを設定する

6 「OK」をクリックする

7 「SmartVision/PLAYER」を終了する

再び「SmartVision/PLAYER」を起動した後で、設定が有効になります。

チェック!!

- 複数のネットワークを設定している場合は、ネットワークアダプタ選択ツールで使用するネットワークを指定してください。
- 2003年5月以降のTVモデルの場合は、「SmartVision」をクリックしてください。

チェック!!

- パスワードは、「サーバパソコンの「SmartVision/SERVER」の設定をする」（p.109）の手順2で設定したパスワードと同じものを入力してください。
- 特に必要がないかぎり、ポート番号は変更しないでください。

ホームネットワークにコンテンツを公開する

「DiXiM Media Server Tool」を使って、ホームネットワークに「MediaGarage」で共有できる、写真、音楽、ビデオなどのコンテンツを公開できます。

サーバパソコンでの作業になります

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「MediaGarage」-「サーバツール」をクリックする

「Media Server Tool」画面が表示されます。

2 「セキュリティ」タブをクリックする

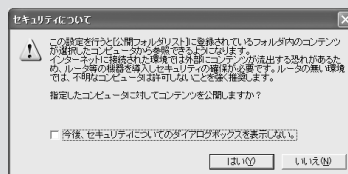
3 「非公開リスト」に表示されているクライアントパソコンをクリックして、「公開」をクリックする

クライアントパソコンが「公開リスト」に移ります。

4 「OK」をクリックする

参照

「DiXiM Media Server Tool」について→MediaGarageのオンラインヘルプ

「セキュリティについて」の画面が表示された場合は、内容を読んで「はい」をクリックしてください。必要に応じて、「今後、セキュリティについてのダイアログボックスを表示しない。」をチェックしてください。

クライアントパソコンのファイアウォールの設定を変更する

クライアントパソコンでの操作になります

クライアントパソコンの環境により、手順が異なります。

●2004年9月以降のVALUESTAR/LaVieシリーズの場合

クライアントパソコンの設定は必要ありません。「クライアントパソコンから録画したテレビ番組を視聴する」（p.118）へ進んでください。

●それ以外のモデルの場合

クライアントパソコンにWindowsのファイアウォールが設定されている場合、SmartVision/SERVERとは接続できません。「UDP」、「TCP」の設定を変更してください。
設定方法は、お使いのOSにより異なります。
Windows XP SP2をお使いの場合は次の手順をおこなってください。
Windows XP SP1をお使いの場合は、p.116をご覧ください。

・Windows XP SP2をお使いの場合

1. **「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」をクリックして表示される画面で使用している接続をダブルクリックする**
「ローカル エリア接続の状態」画面が表示されます。

2. **「全般」タブをクリックして「プロパティ」をクリックする**
「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

3. **「詳細設定」タブの「Windows ファイアウォール」で「設定」をクリックする**
「Windows ファイアウォール」画面が表示されます。

4. **「例外」タブをクリックし、「プログラムの追加」をクリックする**
「プログラムの追加」画面が表示されます。

5

「SmartVision」(C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥NECSVTV.exe)を追加して「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

6

「例外」タブの「プログラムの追加」をクリックする

「プログラムの追加」画面が表示されます。

7

C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥SVUPnPMn.exe を追加して「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

8

「例外」タブの「ポートの追加」をクリックする

「ポートの追加」画面が表示されます。

9

「SmartVision/SERVER」と入力する

10

「ポート番号」に SmartVision/SERVER で使用する " ポート番号 +1" の値を入力する

p.109 の手順 2 でポート番号を変更していない場合は、"6001" を入力します。

11

「UDP」が◉になっていることを確認する

◉になっていないときは、「UDP」の左の○をクリックして◉にしてください。

12

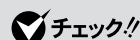
「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

13

「ポートの追加」をクリックする

「ポートの追加」画面が表示されます。

チェック!!

設定によっては、「NECSVTV.exe」は「NECSVTV」と表示されます。

14 「名前」に「SmartVision/SERVER2」と入力する

15 「ポート番号」にSmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+7"の値を入力する

p.109の手順2でポート番号を変更していない場合は、"6007"を入力します。

16 「UDP」をクリックして◉にし、「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

17 「ポートの追加」をクリックする

「ポートの追加」画面が表示されます。

18 「名前」に「MediaGarage Server」と入力する

19 「ポート番号」に30000と入力する

20 「TCP」をクリックして◉にし、「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

21 「OK」をクリックする

「ローカル エリア接続のプロパティ」画面に戻ります。

22 「OK」をクリックする

これで、設定は終了です。
「クライアントパソコンから録画したテレビ番組を視聴する」(p.118)へ進んでください。

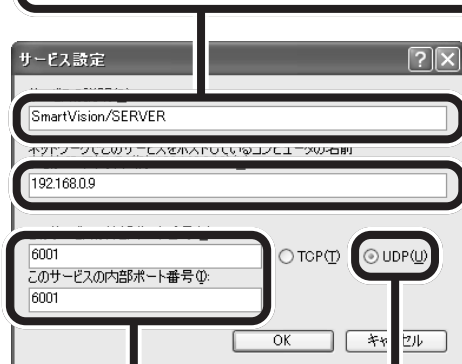
・Windows XP SP1 をお使いの場合

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」をクリックして表示される画面で使用している接続をダブルクリックする**
「ローカル エリア接続の状態」画面が表示されます。

2 **「全般」タブをクリックして、「プロパティ」をクリックする**
「ローカル エリア設定プロパティ」画面が表示されます。

3 **「詳細設定」タブの「インターネット接続ファイアウォール」で「設定」をクリックする**
「詳細設定」画面が表示されます。

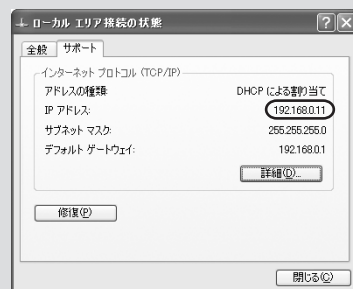
4 **「追加」をクリックする**
「サービス設定」画面が表示されます。

5 **「SmartVision/SERVER」と入力する**

6 **サーバパソコンのIPアドレスを入力する**

7 **「UDP」が◉になっていることを確認する**
◉になっていないときは、「UDP」の左の◯をクリックして◉にしてください。

8 **「このサービスの外部ポート番号」と「このサービスの内部ポート番号」の両方に、SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+1"の値を入力する**
p.109の手順2でポート番号を変更していない場合は、"6001"を入力します。

チェック!!

IPアドレスは「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」をクリックして表示される画面で、使用している接続をダブルクリックし、「ローカル エリア接続の状態」の「サポート」タブをクリックすると表示されます。

「インターネット プロトコル(TCP/IP)に表示される数値や内容は、お使いのネットワーク環境により異なります。

9 「OK」をクリックする

「詳細設定」画面に戻ります。

10 「追加」をクリックする

「サービス設定」画面が表示されます。

11 「サービス設定」画面で繰り返し次のポートを追加し、「OK」をクリックする

サービスの説明	このサービスの外部ポート番号 / このサービスの内部ポート番号	プロトコル
SmartVision/SERVER2	SmartVision/SERVERで使用するポート番号+7（ポート番号を変更していない場合は6007）	UDP
SmartVision/SERVER3	SmartVision/SERVERで使用するポート番号+7（ポート番号を変更していない場合は6007）	TCP
MediaGarage Server	30000	TCP

12 「OK」をクリックする

「ローカル エリア設定のプロパティ」画面に戻ります。

13 「OK」をクリックする

「ローカル エリア接続の状態」画面に戻ります。

14 「閉じる」をクリックする

これで、設定は終了です。

●「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」の場合

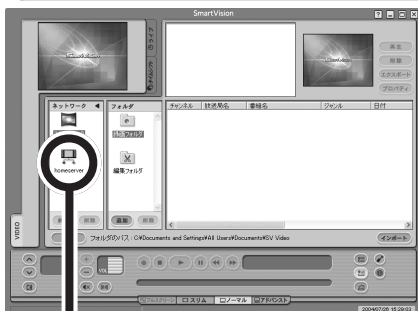
ご利用のコンピュータで「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」をご利用の場合は、「サーバパソコンのファイアウォールの設定を変更する」（p.109）をご覧になり、クライアントパソコンでも同じように設定してください。

クライアントパソコンから録画したテレビ番組を視聴する

「SmartVision/SERVER」と「SmartVision/PLAYER」の設定が終わったら、サーバパソコンで録画したテレビ番組をクライアントパソコンで視聴してみましょう。

サーバパソコンで「SmartVision/SERVER」を起動する

2

クライアントパソコンの「SmartVision/PLAYER」を起動する

「ネットワーク」欄に、ホームネットワーク上にあるサーバパソコンが表示されます

3

「ネットワーク」欄の中から、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする

サーバパソコンで録画した番組が一覧表示されます

4

視聴したい番組をダブルクリックする

ポイント

「SmartVision/PLAYER」の操作について

「SmartVision/PLAYER」の操作は、基本的にはサーバパソコンのSmartVision の操作と同じです。ただし、SmartVision 用のTVチューナが搭載されていないパソコンで「SmartVision/PLAYER」を使う場合、選べるソースはVIDEOのみとなります。ここから録画番組の再生、タイムシフトでの番組配信などの機能を利用します。SmartVision の操作方法について詳しくは、SmartVision を起動し、画面上部にある ? をクリックして表示される画面をご覧ください。

チェック!!

- サーバパソコンを複数のユーザーを設定してお使いの場合は、視聴したい録画番組のデータを持っているユーザーアカウントでログオンして、「SmartVision/SERVER」を起動してください。
- 「SmartVision/SERVER」が録画したテレビ番組を配信できる「SmartVision/PLAYER」は、同時に2台までです。
- 音声付き変速再生は、MPEG4画質を選んだときのみ有効です。

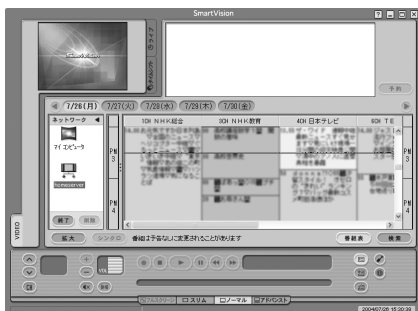
映像が配信されると、サーバパソコンの通知領域にある が に変わります。

クライアントパソコンから、サーバパソコンに録画予約する

クライアントパソコンから、サーバパソコンに「番組表」を使って録画予約する方法を紹介します。

1　クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」を起動する

2　（番組表）をクリックする

3　「ネットワーク」欄で、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする

サーバパソコンで取得している番組表が表示されます。

4　予約したい番組を選んで、ダブルクリックする

5　予約情報を確認し、「OK」をクリックする

クライアントパソコンからタイムシフトモードのテレビ番組を視聴する

1 **クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」を起動する**

2 **「ネットワーク」欄で、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする**

3 **「フォルダ」欄で、「チューナ」アイコンをクリックする**

4 **視聴したいチャンネルをダブルクリックする**

番組が表示されます。

チェック!!

- 「SmartVision/SERVER」がタイムシフトモードのテレビ番組を配信できる「SmartVision/PLAYER」は、同時に1台までです。
- コピーガード信号の入った映像は、配信できません。
- クライアントパソコンからは、手動で録画できません(予約録画をサーバパソコンに登録できます)。
- ブックマークの登録／削除機能は、利用できません。
- エクスポート機能と簡易編集機能は、ネットワークに接続しているときは利用できません。これらの機能は、クライアントパソコンに録画データをコピーすると、利用できるようになります。
- 1000BASE-T、100BASE- TX規格などの高速なLAN 環境で利用しているときでも、高画質またはユーザ設定で高いビットレートに設定している場合は、映像がスムーズに表示されなかったり、乱れることがあります。このようなことがないように、クライアントパソコンで録画済み番組の再生をおこなうときは、MPEG4 のビットレートを低く設定してください。また、サーバパソコンから配信したテレビ番組をタイムシフトモードで視聴するときは、標準画質にするなど画質を低く設定してください。

クライアントパソコンからサーバパソコンを省電力モードにする/起動する

クライアントパソコンで録画した番組を見たり、録画予約した後、サーバパソコンを省電力モードにしたり、省電力モードのサーバパソコンをクライアントパソコンから復帰、起動できます。

●サーバパソコンを省電力モードにする

1 **クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」を起動する**

2 **(番組表)、(VIDEOリスト)または(予約&結果リスト)をクリックする**
ここでは、をクリックしています。

3 **「ネットワーク」欄でサーバパソコンのアイコンをクリックする**

4 **(終了)をクリックする**

「サーバを省電力モードにしています」と表示され、しばらくするとサーバパソコンが省電力モードになります。サーバパソコンが省電力モードになると、「ネットワーク」欄の(終了)は(起動)に変わります。

チェック!!

- SmartVision/SERVERの「配信先から終了要求されたときの動作」で「省電力モードに移行しない」が設定されているときは、クライアントパソコンからサーバパソコンを省電力モードにすることはできません。
- サーバパソコンをクライアントパソコンから起動できるのは、サーバパソコンとクライアントパソコンが有線LANで接続している場合だけです。無線LANで接続している場合は、サーバパソコンを省電力モードにすることはできますが、省電力モードから復帰したり、起動させることはできません。

●サーバパソコンを省電力モードから復帰、起動する

1 **クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」を起動する**

2 **(番組表)、(VIDEO リスト)または(予約&結果リスト)をクリックする**
ここでは、をクリックしています。

3 **「ネットワーク」欄でサーバパソコンのアイコンをクリックする**

4 **(起動)をクリックする**

「サーバを起動しています」と表示され、しばらくするとサーバパソコンが省電力モードから復帰します。サーバパソコンが省電力モードから移行した後、「ネットワーク」欄の(起動)は(終了)に変わります。

チェック!!

サーバパソコンを省電力モードから復帰、起動するには、あらかじめ次の手順でサーバパソコンのネットワークアダプタの「電源の管理」の設定をする必要があります。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「システム」をクリックして表示される「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブ-「デバイスマネージャ」をクリックする
2. 「デバイスマネージャ」のネットワークアダプタから、設定するLANアダプタの名称を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
3. 「電源の管理」タブをクリックし、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」をクリックして☑にし、「OK」をクリックする

チェック!!

サーバパソコンが省電力モードになっているときは、「ネットワーク」欄のサーバパソコンのアイコンは、グレー表示されます。

PART

6

TVモデルQ&A

テレビがうまく見られないときや添付ソフトがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。

テレビがうまく見られないときには

テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

アンテナは接続されていますか?

アンテナを接続してください。接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)をご覧ください。

チャンネルは設定されていますか?

チャンネルを設定してください。設定についてはPART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.11)をご覧ください。

本体とディスプレイは正しく接続されていますか?(VALUESTAR L、VALUESTAR TX、VALUESTAR TZ、VALUESTAR Gタイプ C)

本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『準備と設定』またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

他のソフトが起動していませんか?

「WinDVD」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

ビデオ入力になっていませんか?

画面左にあるソースタブが「外部入力」や「VIDEO」になっている場合は、「TV」タブをクリックしてください。

音が出ない、音が大きすぎる

スピーカの音量を調整してください。

スピーカの音は、液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディスプレイのボリュームボタンまたはボリュームつまみで調整してください。
液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は、キーボードで音量調節をおこなってください。

SmartVision で音量調節をしてください。

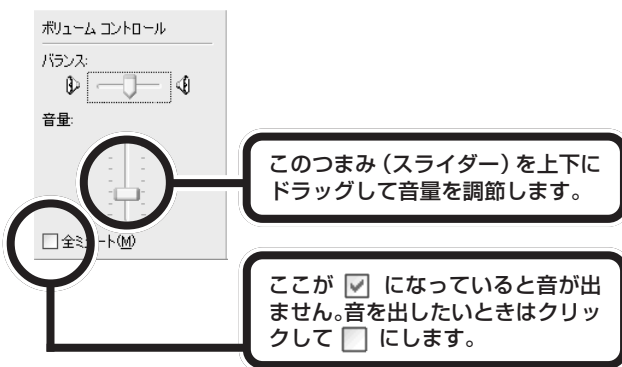
SmartVisionの＋または－をクリックして、音量調整を行ってください。また、ミュート（消音）がかかっていないか確認してください。

キーボードまたは音量調節つまみで音量調整を行ってください。

LaVie L、VALUESTAR G タイプ C は本体前面の音量調節つまみで音量を調節してください。その他のモデルでは、キーボードのボリュームボタンで音量を調整してください。

「ボリューム コントロール」画面でミュート（消音）の確認と音量の調節をしてください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリューム コントロール」をクリックする。

2 「ボリューム コントロール」画面で全ミュートが☑になっているときはクリックして□にする。

さらにスライダー（ ）を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の ✕ ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

参照

音量の調整について→ PART2 の「音量や音声を変える」（p.34）

表示される「ボリューム コントロール」は、お使いのパソコンの環境により左記とは異なる場合があります。

タイムシフトモードとライブモードで音量に差がある

次の手順で音量差を変更することができます。

1 SmartVisionの(設定)をクリックする。
2 「映像/音声/操作」アイコンをクリックし、「TV音声」タブの「音量調整」で音量を調整する。
3 「OK」をクリックする。

映像が乱れる(コマ落ちする)

他のソフトが起動していませんか?

パソコンのCPU使用率が高くなると映像がコマ落ちします。他のソフトを終了してから、SmartVisionを起動してください。

マカフィー・ウイルススキャンの設定を変更してください。

次の手順でコマ落ちを軽減することができます。

1 通知領域にあるMを右クリックする。
2 「VirusScan」-「オプション」をクリックする。
3 「ActiveShield」タブの「詳細設定」をクリックする。
4 「スキャンするファイルタイプ」の「プログラムファイルと文書のみ」をチェックする。
5 「OK」をクリックする。
6 「OK」をクリックする。

マカフィー・ウイルススキャンの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。

次の手順をおこなってください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする。
2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする。
3 「タスク」をクリックする。
4 「タスク」の画面で、タスク名の一覧から「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックする
5 「タスク」タブの「実行する(スケジュールされたタスクは指定の時間に実行されます)」をクリックして☐にする。

[ユーザー名]の部分には、登録しているユーザー名が表示されます。

6 「OK」をクリックする。

7 ログインしているすべてのユーザーの「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」について、手順1〜6を繰り返して、スケジュールを無効にする。

●手動でアップデートの確認をする

「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」を無効にしたときは、次の手順で、随時更新を手動で確認してください。

1 パソコンがインターネットに接続されていることを確認する。

2 通知領域にあるM(McAfee VirusScanのアイコン)を右クリックして表示されるメニューから「更新」をクリックする。

3 「McAfee SecurityCenter の更新」画面で「今すぐ確認する」をクリックする。

チェック!!

・「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」を無効にすると、McAfee VirusScanのアップデート情報が自動的に確認されなくなります。
・アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

●McAfee.comアップデートの確認を有効に戻す

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする。

3 「タスク」をクリックする。

4 「タスク」の画面で、タスク名の一覧から「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックする

5 「タスク」タブの「実行する(スケジュールされたタスクは指定の時間に実行されます)」をクリックして☑にする。

6 「OK」をクリックする。

7 スケジュールを無効にしたすべてのユーザーの「McAfee.comアップデートの確認([ユーザー名])」について、手順1〜6を繰り返して、スケジュールを実行にする。

チェック!!

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

☹→☺ 字幕放送を受信する設定になっていませんか?

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先される場合は、次の手順で字幕放送の設定を解除してください。

1 SmartVisionの(設定)をクリックする。

2 「TV詳細」アイコンをクリックし、「データ放送／字幕」タブの「字幕放送を受信する」のチェックを外す。

3 「OK」をクリックする。

テレビの画面が白っぽい

VALUESTAR をお使いの場合、ディスプレイに「VISUAL ボタン」がある場合、「VISUAL ボタン」を押すと、色補正がおこなわれ、メリハリのついた見やすい表示にできます。

SmartVisionが起動できない

☹➡☺ 他のユーザーで、SmartVision などを起動したまま、ユーザー切り替えをおこなっていませんか？

SmartVision、ADAMS ナビを起動している、または MediaGarageでテレビ視聴中、Windowsのユーザー切り替えの機能で別のユーザーに切り替えると、そのユーザーではSmartVision、ADAMS ナビを起動することはできません。

テレビ表示中やデータ放送の受信中に省電力状態にしようとしたら画面が表示されなくなった

次の場合は省電力状態にしないでください。

・ SmartVision、ADAMS ナビを起動中。
・ テレビ番組表を受信しているときなど。

参照

VISUAL ボタンについて→液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は「サポートナビゲーター」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

視聴予約や録画予約ができないときには

テレビ番組表を受信するときや番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

スクリーンセーバーやスタンバイからの復帰時にパスワードを入力する設定にしていませんか？

省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面を表示する設定になっていると、パスワード入力がない場合に復帰ができないため、予約を実行できません。PART1 の「録画予約のための準備をする」（p.8）をご覧になり、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されない設定にしてください。

パソコンをシングルユーザーでお使いの場合、Windowsのログオンパスワードを設定すると、電源オフから録画予約を実行することができません。

セキュリティ上の保護のため、Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、電源オフの状態から録画予約を実行することはできません。Windowsのログオンパスワードを削除するか、「設定ウィンドウ」-「録画/再生/予約」-「予約」タブの「予約録画/予約視聴後の電源設定」で「電源を切る。」以外に設定してください。

パソコンを複数ユーザーでお使いの場合は、電源オフから録画予約を実行することができません。

パソコンを複数ユーザーでお使いのかたは、「設定ウィンドウ」-「録画/再生/予約」-「予約」タブの「予約録画/予約視聴後の電源設定」で「電源を切る。」以外に設定してください。

「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

参照

予約実行結果を確認する→ PART4 の「予約した録画が成功したか確認する」（p.76）

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

録画保存先フォルダを変更していませんか？

予約したユーザーの保存先フォルダがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先が変更されている場合、VIDEO リストには録画した番組が表示されません。

「シークレット予約」で録画していませんか？

シークレット予約で録画すると、他のユーザーでログオンしたときには、番組名に「シークレット録画」と表示されます。録画したユーザーでログオンすると、番組名などが表示されます。

おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、録画フォルダと異なるフォルダに保存されます。また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。削除したくない場合は、手動で予約録画するか、または、VIDEOリストの中からおまかせ録画フォルダをクリックすると、おまかせ録画のファイルを見ることができます。消去したくないファイルを右クリックして、プロパティを表示させて、おまかせ録画のチェックボックスを外してください。

DVD-RAMに直接録画していませんか？

DVD-RAMに録画した番組は、VIDEOリストには表示されません。

録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「VIDEO リスト」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別のフォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

参照

予約実行結果を確認する→PART4の「予約した録画が成功したか確認する」(p.76)

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか 1 つの番組が録画されます。録画したい番組以外の番組を除外リストに登録するか、条件を絞り込んでください。

番組表の受信時刻と重なっていませんか？

番組表の受信時刻と重なっている番組は、番組表の受信予約が優先されるため、録画されません。番組表の受信時刻を設定している場合は、受信時刻を変更してください。

参照

番組表の受信時刻を変更する→PART4 の「番組表の受信時刻を変更する」（p.58）

すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参照

予約を変更する→PART4 の「予約の確認や変更をする」（p.75）

番組を「除外番組リスト」に登録していませんか？

除外リストに登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組リスト」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

参照

番組を予約する→PART4 の「番組を予約する」（p.67）

予約リストから番組を取り消していませんか？

予約リストから取り消した番組（取り消した放送回のみ）は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

外出先からの録画予約ができない

「SmartVision TV 録画予約サービスクライアント（BIGLOBE 用）」を利用するには、Windows のログオンパスワードと SmartVision のパスワードの設定が必要です。

Windows のログオンパスワードは、PART1 の「● Windows のログオン時のパスワードを設定する」（p.10）をご覧になり設定してください。
SmartVision のパスワードは、SmartVision の （設定）をクリックし、「設定ウィンドウ」の「個人情報」アイコンをクリックして表示される画面で、Windows のログオンパスワードと同じパスワードを設定します。

「SmartVision TV 録画予約サービスクライアント（ドット・ゲートサービス用）」を利用するには、Windowsのログオンパスワードの設定が必要です。

PART1の「●Windowsのログオン時のパスワードを設定する」（p.10）をご覧になり設定してください。

動画や静止画をうまく取り込めないときには

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

キャプチャできない

ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「サポートナビゲーター」-「トラブル解決」をご覧ください。

本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。

DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？

DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー防止信号が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。また、その映像をこのパソコンに入力し、このパソコンに接続したビデオ機器などに出力することもできません。

参照

動画キャプチャの制限→PART3の「録画（動画キャプチャ）の制限について」（p.39）

チェック!!

通常はTVソフト起動時に取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して、縦横比率を修正してください。

取り込んだ動画の画質が悪い

☹➡☺ マイク内蔵 USB カメラを使っていませんか?

マイク内蔵USBカメラで取り込んだ動画は、IEEE1394接続された市販のデジタルビデオカメラから取り込んだ動画に比べて画質が劣ります。

☹➡☺ キャプチャするときの設定を変更してください。

「SmartVision」の「設定」-「録画 / 再生 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「画質」を「高画質」に設定してください。ご購入時の設定は、「標準画質」になっています。

ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない

☹➡☺ 正しく接続されていますか？

パソコンとビデオデッキを接続するには、別売のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。正しく接続されているかどうか確認してください。
接続については、PART5の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.98) をご覧ください。

☹➡☺ ビデオ入力になっていますか？

画面左にある「外部入力」タブをクリックしてください。

番組表などの受信がうまくいかないときには

番組表や、ADAMS 放送受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表の情報や受信チャンネル設定時の情報は、地上アナログデータ放送で送られてきます。

受信できない、または、データの取りこぼしが起きる

SmartVisionが起動していると番組表が受信できないような設定になっていませんか？

次の設定を確認してください。

・設定ウィンドウの「番組表」-「TV 番組表データ」タブの「ADMS-EPG を使用する」にチェックをして「設定」をクリックする。「視聴中に番組表受信を行う」のチェックを外している場合はチェックする。

アンテナは正しく接続されていますか?

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)をご覧ください。

アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

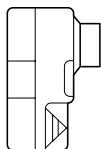
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

受信チャンネルは正しく設定されていますか?

設定を確認してください。設定方法についてはPART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.11)をご覧ください。

アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか?

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの形状

☹➡☺ **ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっていませんか?**

付録の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」(p.144)をご覧になり、F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

☹➡☺ **地上アナログデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?**

放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上アナログデータ放送をおこなっていない局もあります。この場合は、地上アナログデータ放送を受信できません。
地上アナログデータ放送をおこなっているかどうかについては、放送局に確認してください。

☹➡☺ **テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか?**

地上アナログデータ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のような場所では受信できないことがあります。
・ゴースト(二重映り)が多い場所
・電波が弱い場所
・極端に電波が強い場所

☹➡☺ **地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか?**

「地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上アナログデータ放送の対応をおこなっていない場合があり、地上アナログデータ放送が受信できなかったり、ソフトが正常に動作しなかったりすることがあります。

番組表が受信できない

☹➡☺ **ADAMS放送を受信できますか?**

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS放送が受信できることを確認してください。

チェック!!

同時に受信できる放送局は1局のみです。データ放送の種別ごとに別々の放送局を受信することはできません。

参照

地上アナログデータ放送について→付録の「地上アナログデータ放送」(p.140)

チェック!!

電波が弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

チェック!!

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS放送等のデータ放送が受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

参照

このPARTの「「ADAMS」の内容が更新されない」(p.137)

番組表が2日分しか表示されない

ご利用の地域はどこですか？

ご利用の地域によって、放送されている番組情報が異なります。現在、北海道、関東（栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川）、中部（愛知、岐阜、三重）、関西（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）、福岡（ただし一部局を除く）の各地方（県域）の番組情報は原則として８日分、その他の地方は２日分となっております。
この日数は、今後予告なく変更される可能性があります。

参照
ADAMS-EPG について詳しくは http://www.tadv.jp/service/adams_epg/index.html をご覧ください。

「ADAMS」の内容が更新されない

プリインストールコンテンツが表示されていませんか?

インターネットエクスプローラのアドレスに「C：¥Documents and settings¥All Users¥Application Data¥NEC¥SmartVision¥ADAMS-P¥preinstl¥INDEX.HTML」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。
インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間をおいてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。

ADAMS ナビの更新情報が新しくなっていますか？

ADAMS 放送を受信すると、ADAMS ナビの更新状況が表示されます。すべてのコンテンツの更新状況が 100%になった時点で「ADAMS」ボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。

参照
更新情報→ADAMSナビのオンラインマニュアルの「更新情報一覧」

ADAMS 放送をおこなっている放送局にチャンネルが合っていますか？

ADAMS 放送をおこなっている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。ADAMS放送をおこなっている放送局にチャンネルを合わせてください。
ADAMS ナビを起動し、ADAMS インジケータがアニメーションで表示されている場合、正しく ADAMS 放送を受信しています。

参照
ADAMS放送を受信できる放送局→PART1 の「番組表受信の設定をする」（p.15）
ADAMS放送をおこなっている放送局にチャンネルを合わせるには→PART4の「番組表の受信時刻を変更する」（p.58）
チャンネルの設定→ＰＡＲＴ１ の「チャンネルと番組表の設定をする」（p.11）

その他

SmartVisionのデータをバックアップしたい

バックアップ-NXでバックアップする場合、保存先の容量分しか保存できないため、長時間録画したデータを保存するときに、容量が足りなくなることがあります。
録画番組データは、SmartVision のエクスポート機能を使って、番組ごとに書き出して、映像のデータとして保存することでバックアップするようにしてください。

SmartVisionの録画番組データを他のパソコンへ移したい

SmartVisionの録画番組データをそのまま他のパソコンへ移すことはできません。
録画番組データを他のパソコンで見るときは、SmartVision のエクスポート機能を使って、データをDVD-R/RW、DVD+R/RWやCD-R/RWに保存して映像データとして他のパソコンで再生してください。

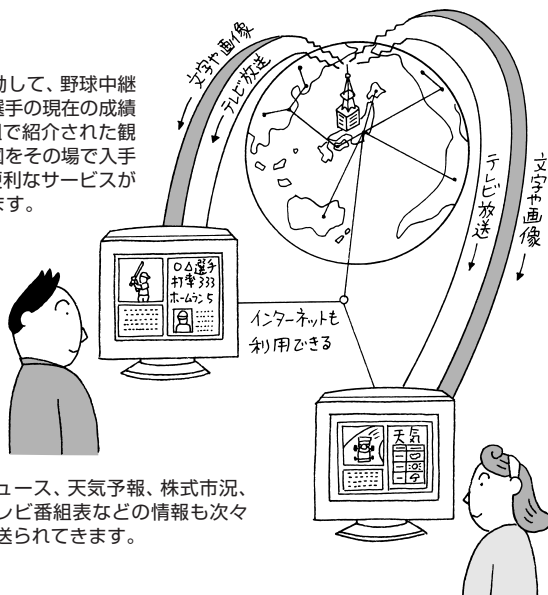
参照
エクスポート機能について→「SmartVision オンラインヘルプ」-「使ってみよう(導入編)」-「SmartVision で編集しよう!」-「いろんな形で書き出そう、DVD にだって書き込める」

付　録

地上アナログデータ放送

このパソコンで利用できる地上アナログデータ放送には、「ADAMS 放送」などがあります。

●地上アナログデータ放送とは

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせられる電波のすきまのようなものが残っています。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上アナログデータ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれ専用の受信ソフトを使って表示できます。
また、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上アナログデータ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

チェック!!

- 「地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送（ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス）」では、地上アナログデータ放送の対応をおこなっていない場合があり、受信できないことや、ソフトが正常に動作しなくなることがあります。ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- 同時に受信できる放送局は 1 局のみです。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。
このパソコンで利用できる地上アナログデータ放送にはビットキャスト放送（添付モデルのみ）や文字放送（添付モデルのみ）、ADAMS放送があります。

・ビットキャスト放送（添付モデルのみ）
　bitcast browserというソフトで見ることができます。

・文字放送（添付モデルのみ）
　もじぞうというソフトで見ることができます。

・ADAMS放送
　ADAMSナビというソフトで見ることができます。

起動方法などについては、「サポートナビゲーター」をご覧ください。地上アナログデータ放送の楽しみ方について詳しくは、各ソフトのヘルプをご覧ください。

・ADAMS放送をご覧になるには、ADAMS放送が放送されているチャンネルに合わせる必要があります。ADAMS放送を受信できる放送局については、p.15をご覧ください。
・ADAMS放送は、受信を始めてからすべてのデータがそろうまでに約1時間かかります。コンテンツの内容をご覧になるときは、起動してからしばらくお待ちください。

CATV 放送を見る

CATV ホームターミナルを利用して、SmartVision で
CATV 放送を見る場合は、この説明をご覧ください。

CATV ホームターミナルを接続する

S 映像用ケーブル（または映像用ケーブル）と音声用ケーブルを使って、CATV ホームターミナルとパソコンを接続します。
接続のしかたについては、PART5の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」（p.98）をご覧ください。

参照

使用するケーブルについて→PART5 の「用意するもの」（p.98）

●接続するときの注意

・ケーブルを接続する前にパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
・S 映像用ケーブルの場合は S 映像入力端子に、映像用ケーブルの場合は映像入力端子に接続してください。
・ホームターミナルの RCA 端子から接続する場合は、ステレオ RCA ピンプラグ→ステレオミニプラグの変換ケーブルまたはコネクタが必要になります。
・ホームターミナル側の詳しい接続については、CATV ホームターミナルに添付のマニュアルをご覧になるか、またはご加入のCATV 会社にお問い合わせください。

SmartVision で CATV 放送を見る

1. **CATV ホームターミナルの電源を入れる**
   ホームターミナルに家庭用テレビが接続されている場合は、正しく映像が表示されているか確認してください。

2. **パソコンの電源を入れる**

3 **SmartVision を起動する（p.24）**

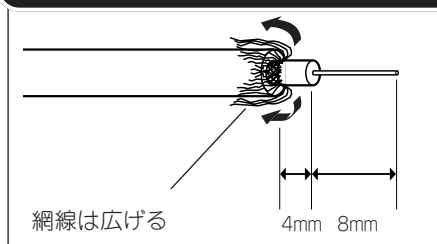
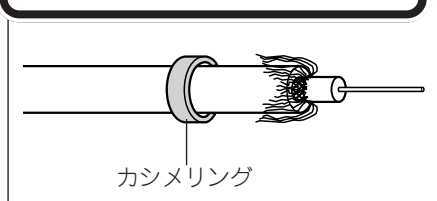
4 **「外部入力」タブをクリックする**
SmartVision の画面に CATV の映像が表示されることを確認してください。

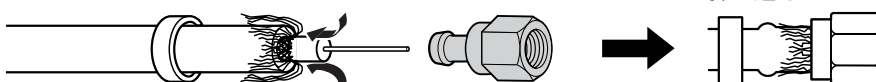
5 **CATVのリモコンを使ってCATVホームターミナルのチャンネルを変更し、見たいチャンネルを表示する**

- CATV 放送はビデオ入力と同じ扱いになります。SmartVision で CATV のチャンネルを変更することはできません。チャンネルを変更するときは、CATV ホームターミナルのチャンネルを変更してください。
- パソコン本体にアンテナ線を接続していない場合は、チャンネルとテレビ番組表の設定は必要ありません。また、オートスキャンをしてもチャンネルを設定することはできません。

ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける

パソコンとアンテナ線を接続するとき、アンテナ線が1本（UHFのみまたはVHFのみか、UHF/VHF混合のとき）または、アンテナ線が2本（UHFとVHF）のときには、ケーブルに市販のF型コネクタプラグを取り付ける必要があります。

1 アンテナ線の先を持ち、カッターを使って、およそ次のような寸法にケーブルを加工する

2 カシメリングをケーブルに通す

3 F型コネクタプラグを図のようにケーブルに押し込む

網線と白い部分の間に入れる

チェック!!

あらかじめ、市販のF型コネクタプラグと、お手持ちのカッター、ペンチを用意してください。
F型コネクタプラグは、ケーブルの太さにあったものをお買い求めください。

網線の端を少し切っておくと、あとでケーブルにカシメリングを通す際に作業しやすくなります。

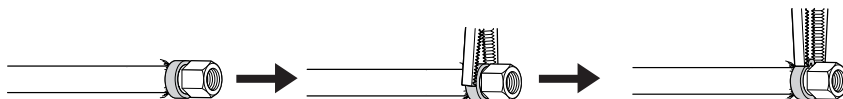
金属線は折れやすいので、カッターで傷つけたり、曲げないように注意してください。

カシメリングは、F型コネクタプラグが抜けないよう締めるためのものです。

4 **カシメリングをF型コネクタプラグの付け根に固定する**

網線はリングに通す

ペンチなどで軽くつぶしカシメリングをだ円状にする

ケーブルをカシメリングの片側に寄せて、すきまがある部分をペンチなどではさんで締める

5 **カシメリングからはみ出した網線を、カッターなどで切り取る**

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

録画した番組をパソコンで遊ぼう！

SmartVisionで録画した番組を、そのままの状態で置いておいたら、ハードディスクはすぐ一杯に。DVD MovieWriterで編集してからDVDやCDに出力して効率良く管理しよう。テレビ&ビデオデッキじゃできない「パソコンでテレビ」を楽しもう!

SmartVisionで録画して・・・

DVD MovieWriter

出力したDVDをDVDプレーヤで再生!

編集&DVD作成

- お気に入り場面の収集をしたり
- 文字で演出してみたり
- 映画のような場面転換をしたり
- DVD、VideoCDのオープニングメニュー画面を作ったりして
- DVDビデオやVideoCDを作成できる!

VALUESTAR
LaVie

TVモデルガイド

初版 2005年1月
NEC
853-810601-375-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙(古紙率:表紙70%、本文100%)を使用しています。